

認知症になっても安心して暮らせる
まちづくりアンケート（家族等）
結果報告書

令和 8 年 3 月

枚 方 市

目 次

I	調査の概要.....	1
II	調査結果.....	2
	1. 回答者ご自身について.....	2
	2. 支援している当事者について.....	3
	3. 当事者の介護保険サービスの利用状況について.....	5
	4. 認知症もしくは軽度認知障害（MCI）にかかわる質問について.....	7
	5. 認知症施策について.....	16

I 調査の概要

1 調査の目的

ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 10 期）に包含される認知症施策推進計画の策定にあたり、認知症基本法の理念に基づき、認知症の人と家族が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる共生社会の実現をめざし、認知症の本人及び家族の声を尊重し、「新しい認知症観」に基づいた施策の在り方を検討することを目的として調査を実施しました。

2 調査対象

認知症もしくは軽度認知障害（MCI）の方を支援するご家族等

3 調査期間

令和 8 年 1 月～ 2 月

4 調査方法

郵送による配布、郵送・WEB 併用回収

5 回収状況

紙調査回収数	WEB 回収数	回収数合計
31 件	127 件	158 件

6 調査結果の表示方法

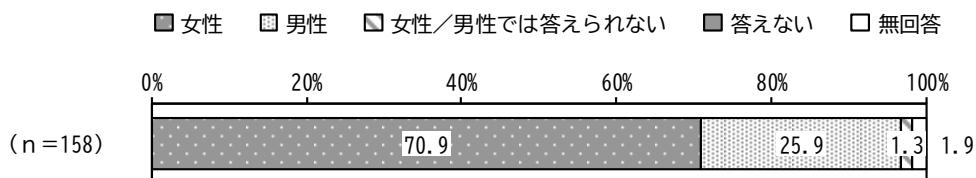
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0％にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0％を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者ご自身について

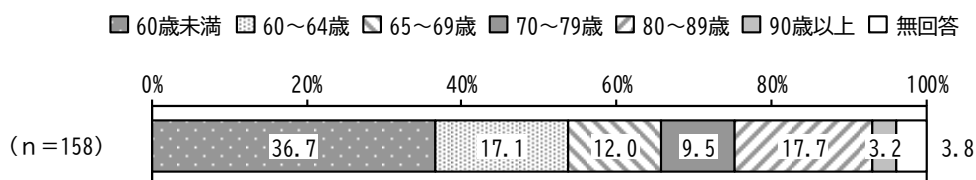
性別

「女性」の割合が70.9%と最も高く、次いで「男性」の割合が25.9%となっています。



年齢

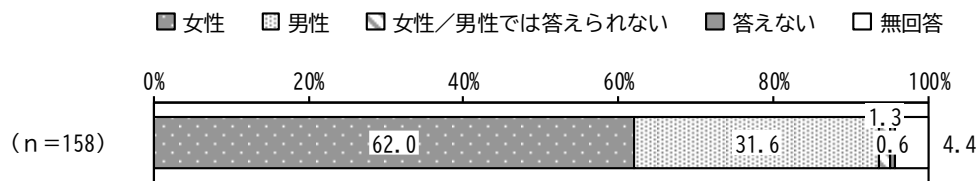
「60歳未満」の割合が36.7%と最も高く、次いで「80～89歳」の割合が17.7%、「60～64歳」の割合が17.1%となっています。



2. 支援している当事者について

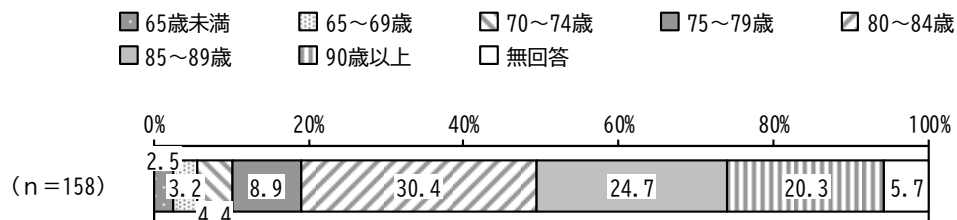
性別

「女性」の割合が 62.0%と最も高く、次いで「男性」の割合が 31.6%となっています。



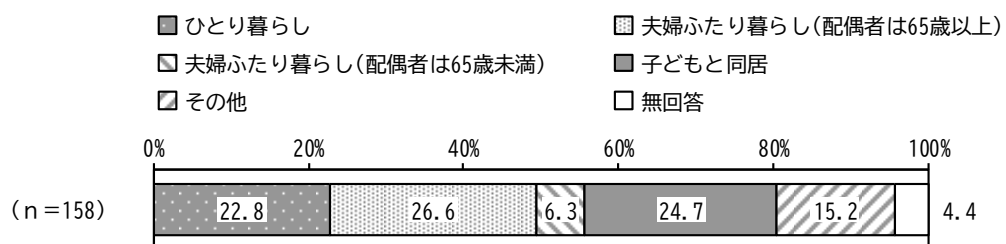
年齢

「80～84 歳」の割合が 30.4%と最も高く、次いで「85～89 歳」の割合が 24.7%、「90 歳以上」の割合が 20.3%となっています。



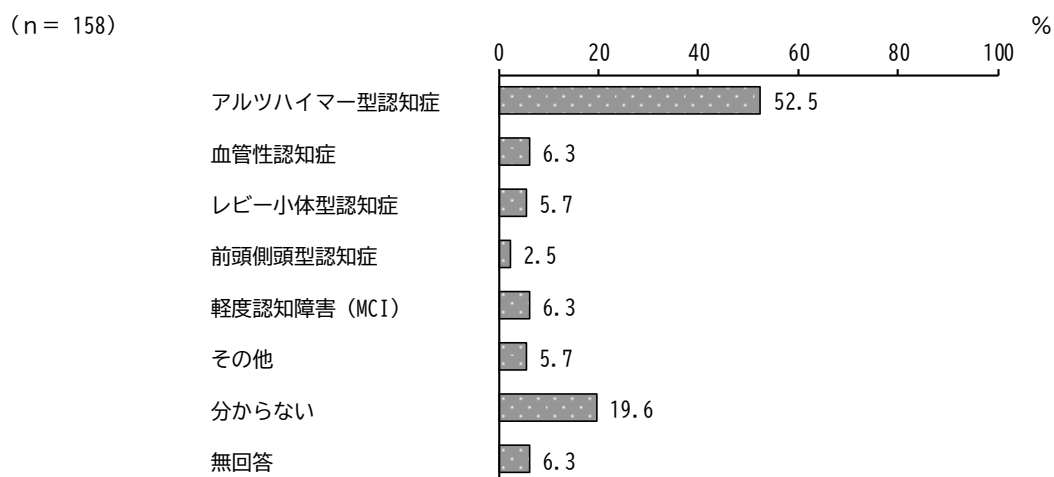
家族構成

「夫婦ふたり暮らし(配偶者は 65 歳以上)」の割合が 26.6%と最も高く、次いで「子どもと同居」の割合が 24.7%、「ひとり暮らし」の割合が 22.8%となっています。



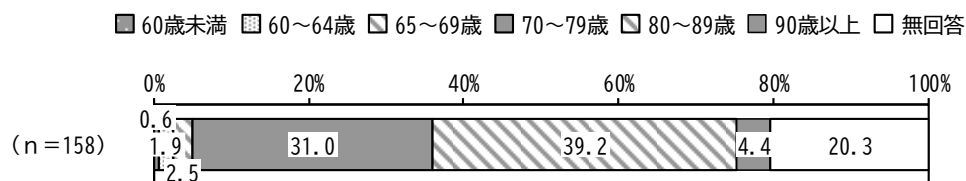
認知症等種別（あてはまるものすべてに○）

「アルツハイマー型認知症」の割合が 52.5%と最も高くなっています。



診断当時の年齢

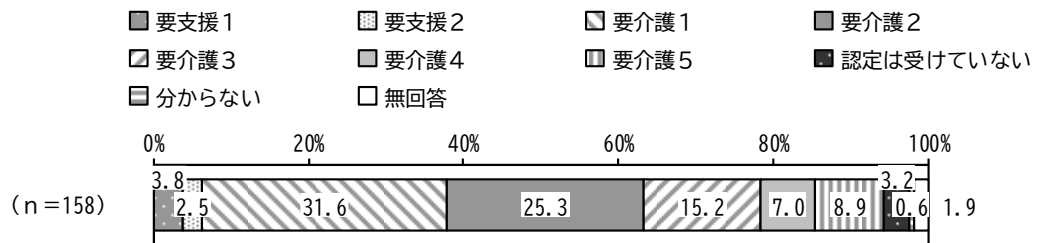
「80～89 歳」の割合が 39.2%と最も高く、次いで「70～79 歳」の割合が 31.0%となっています。



3. 当事者の介護保険サービスの利用状況について

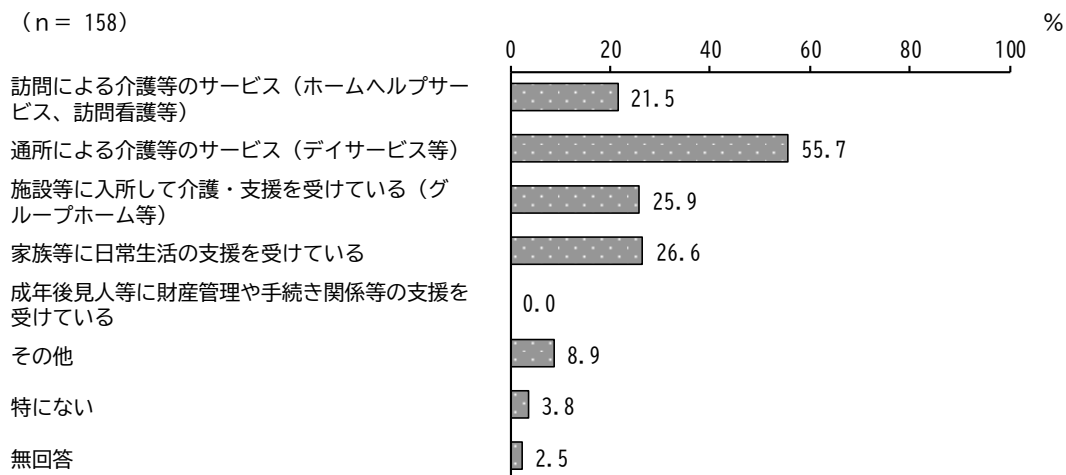
問1 現在、介護認定を受けていますか。(あてはまるもの1つに○)

「要介護1」の割合が31.6%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が25.3%、「要介護3」の割合が15.2%となっています。



問2 現在、日常生活でどのような支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

「通所による介護等のサービス（デイサービス等）」の割合が55.7%と最も高く、次いで「家族等に日常生活の支援を受けている」の割合が26.6%、「施設等に入所して介護・支援を受けている（グループホーム等）」の割合が25.9%となっています。



【当事者介護認定別】

当事者介護認定別にみると、要介護１から要介護５まで介護認定が上がるほど「施設等に入所して介護・支援を受けている（グループホーム等）」の割合が高く、「通所による介護等のサービス（デイサービス等）」の割合が低い傾向にあり、要支援１、２から要介護４まで介護認定が上がるほど「訪問による介護等のサービス（ホームヘルプサービス、訪問看護等）」の割合が高くなっています。また、要介護３で「家族等に日常生活の支援を受けている」の割合が高くなっています。

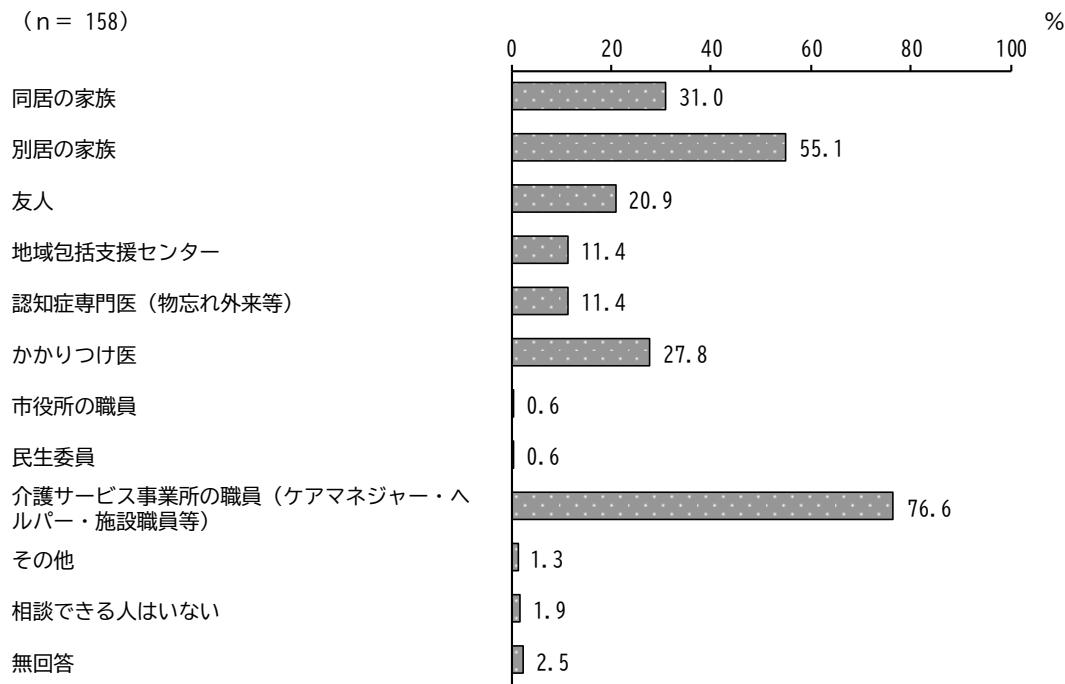
単位：％

区分	回答者数 (件)	訪問による介護等のサ ービス（ホームヘルプ サービス、訪問看護等）	通所による介護等のサ ービス（デイサービス 等）	施設等に入所して介 護・支援を受けている （グループホーム等）	家族等に日常生活の支 援を受けている	成年後見人等に財産管 理や手続き関係等の支 援を受けている	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	152	22.4	57.9	27.0	27.0	0.0	7.9	1.3	2.6
要支援１、２	10	10.0	70.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護１	50	20.0	72.0	12.0	34.0	0.0	4.0	2.0	0.0
要介護２	40	25.0	57.5	27.5	20.0	0.0	7.5	2.5	2.5
要介護３	24	29.2	58.3	33.3	41.7	0.0	12.5	0.0	0.0
要介護４	11	36.4	45.5	45.5	36.4	0.0	9.1	0.0	0.0
要介護５	14	14.3	21.4	64.3	7.1	0.0	21.4	0.0	0.0
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

4. 認知症もしくは軽度認知障害（MCI）にかかわる質問について

問3 相談できる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

「介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）」の割合が76.6%と最も高く、次いで「別居の家族」の割合が55.1%、「同居の家族」の割合が31.0%となっています。



【回答者年代別】

回答者年代別にみると、65～90 歳以上まで年代が下がるほど「友人」の割合が高く、60 歳代～80 歳代まで年代が下がるほど「同居の家族」の割合が高くなっています。また、60～64 歳で「介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	同居の家族	別居の家族	友人	地域包括支援センター	認知症専門医（物忘れ外来等）	かかりつけ医	市役所の職員	民生委員	介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体	158	31.0	55.1	20.9	11.4	11.4	27.8	0.6	0.6	76.6	1.3	1.9	2.5
60歳未満	58	29.3	51.7	22.4	13.8	12.1	29.3	0.0	0.0	79.3	1.7	1.7	1.7
60～64歳	27	55.6	59.3	18.5	7.4	18.5	14.8	3.7	0.0	88.9	0.0	0.0	0.0
65～69歳	19	36.8	57.9	31.6	10.5	5.3	15.8	0.0	0.0	63.2	0.0	0.0	0.0
70～79歳	15	26.7	46.7	26.7	6.7	6.7	46.7	0.0	6.7	86.7	0.0	0.0	6.7
80～89歳	28	14.3	64.3	14.3	14.3	7.1	35.7	0.0	0.0	75.0	3.6	3.6	0.0
90歳以上	5	20.0	60.0	0.0	20.0	0.0	60.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6	16.7	33.3	16.7	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	33.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、子どもと同居で「同居の家族」「介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）」、夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）で「別居の家族」「かかりつけ医」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	同居の家族	別居の家族	友人	地域包括支援センター	認知症専門医（物忘れ外来等）	かかりつけ医	市役所の職員	民生委員	介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体	158	31.0	55.1	20.9	11.4	11.4	27.8	0.6	0.6	76.6	1.3	1.9	2.5
ひとり暮らし	36	22.2	61.1	19.4	11.1	13.9	13.9	0.0	0.0	72.2	0.0	2.8	0.0
夫婦ふたり暮らし （配偶者は65歳以上）	42	19.0	66.7	26.2	14.3	7.1	45.2	2.4	0.0	73.8	2.4	2.4	2.4
夫婦ふたり暮らし （配偶者は65歳未満）	10	40.0	60.0	10.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	80.0	10.0	10.0	0.0
子どもと同居	39	56.4	43.6	23.1	7.7	15.4	35.9	0.0	0.0	87.2	0.0	0.0	0.0
無回答	31	22.6	45.2	16.1	9.7	9.7	16.1	0.0	3.2	71.0	0.0	0.0	9.7

【当事者介護認定別】

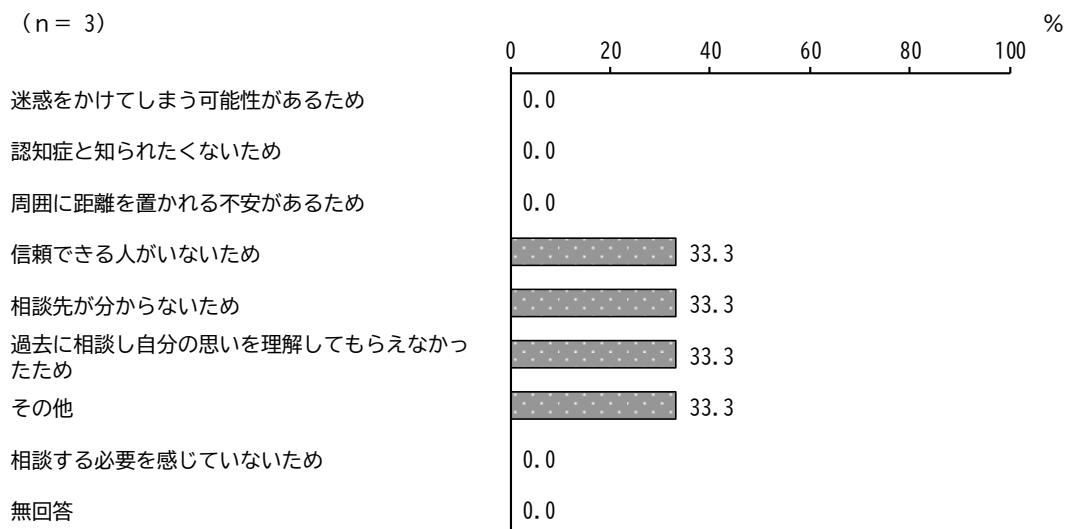
当事者介護認定別にみると、要介護1から要介護4まで介護認定が下がるほど「友人」の割合が高く、要支援1、2から要介護3まで介護認定が上がるほど「かかりつけ医」の割合が高くなっています。また、要介護3で「同居の家族」「介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	同居の家族	別居の家族	友人	地域包括支援センター	認知症専門医（物忘れ外来等）	かかりつけ医	市役所の職員	民生委員	介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体	152	30.9	55.3	19.7	10.5	11.8	27.6	0.7	0.7	78.3	1.3	1.3	2.6
要支援1、2	10	30.0	70.0	20.0	10.0	10.0	20.0	0.0	0.0	60.0	0.0	0.0	0.0
要介護1	50	32.0	58.0	32.0	12.0	20.0	26.0	0.0	2.0	80.0	0.0	2.0	0.0
要介護2	40	25.0	52.5	20.0	15.0	10.0	27.5	2.5	0.0	75.0	2.5	2.5	2.5
要介護3	24	41.7	58.3	12.5	4.2	12.5	33.3	0.0	0.0	91.7	4.2	0.0	0.0
要介護4	11	27.3	45.5	0.0	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	90.9	0.0	0.0	0.0
要介護5	14	35.7	57.1	7.1	14.3	0.0	35.7	0.0	0.0	78.6	0.0	0.0	0.0
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

問3-1 前問で、「相談できる人はいない」と回答された方におたずねします。相談できる人はいない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「信頼できる人がいないため」、「相談先が分からないため」、「過去に相談し自分の思いを理解してもらえなかったため」が1件となっています。



【回答者年代別】

回答者年代別にみると、60歳未満で「信頼できる人がいないため」、80～89歳で「相談先が分からないため」がそれぞれ1件となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	迷惑をかける可能性があるため	認知症と知られたくないため	周囲に距離を置かれる不安があるため	信頼できる人がいないため	相談先が分からないため	過去に相談し自分の思いを理解してもらえなかったため	その他	相談する必要を感じていないため	無回答
全 体	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
60歳未満	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
80～89歳	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
90歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0

【当事者介護認定別】

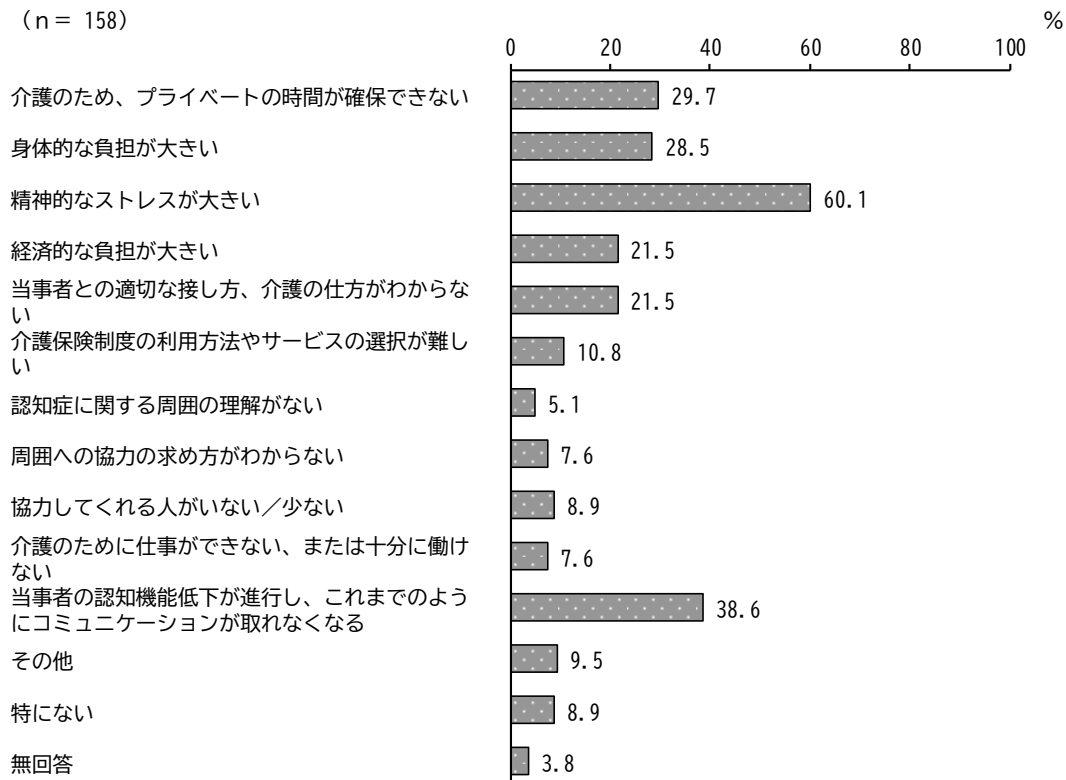
当事者介護認定別にみると、他の介護認定に比べて、要介護2で「信頼できる人がいないため」の割合が高く、要介護1で「相談先が分からないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	迷惑を かけてしま う可能性 があるため	認知症と 知られたく ないため	周囲に距離 を置かれ る不安がある ため	信頼でき る人がいな いため	相談先が 分からない ため	過去に相談 し自分の思 いを理解し てもらえな かったため	その他	相談する 必要を感じ ていないため	無回答
全 体	2	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
要支援1、2	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護1	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0
要介護2	1	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護3	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護4	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
要介護5	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

問4 あなたの困ったことや不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「精神的なストレスが大きい」の割合が 60.1%と最も高く、次いで「当事者の認知機能低下が進行し、これまでのようにコミュニケーションが取れなくなる」の割合が 38.6%、「介護のため、プライベートの時間が確保できない」の割合が 29.7%となっています。



【回答者年代別】

回答者年代別にみると、65～90 歳以上まで年代が上がるほど「当事者の認知機能低下が進行し、これまでのようにコミュニケーションが取れなくなる」の割合が高く、60～80 歳代まで年代が上がるほど「精神的なストレスが大きい」の割合が高くなっています。また、80～89 歳で「介護のため、プライベートの時間が確保できない」「当事者との適切な接し方、介護の仕方がわからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	介護のため、プライベートの時間が確保できない	身体的な負担が大きい	精神的なストレスが大きい	経済的な負担が大きい	当事者との適切な接し方、介護の仕方がわからない	介護保険制度の利用方法やサービスの選択が難しい	認知症に関する周囲の理解がない
全 体	158	29.7	28.5	60.1	21.5	21.5	10.8	5.1
60歳未満	58	25.9	25.9	60.3	25.9	20.7	3.4	6.9
60～64歳	27	25.9	18.5	51.9	11.1	22.2	14.8	3.7
65～69歳	19	21.1	21.1	57.9	26.3	10.5	10.5	0.0
70～79歳	15	33.3	46.7	60.0	20.0	20.0	6.7	0.0
80～89歳	28	53.6	42.9	75.0	21.4	32.1	17.9	7.1
90歳以上	5	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0
無回答	6	16.7	16.7	50.0	33.3	33.3	16.7	16.7

区分	回答者数 (件)	周囲への協力の求め方がわからない	協力してくれる人がいない／少ない	介護のために仕事ができないう、または十分に働けない	当事者の認知機能低下が進行し、これまでのようにコミュニケーションが取れなくなる	その他	特になし	無回答
全 体	158	7.6	8.9	7.6	38.6	9.5	8.9	3.8
60歳未満	58	10.3	12.1	10.3	41.4	15.5	6.9	1.7
60～64歳	27	0.0	3.7	7.4	51.9	7.4	14.8	3.7
65～69歳	19	0.0	10.5	5.3	26.3	5.3	15.8	5.3
70～79歳	15	0.0	0.0	0.0	26.7	0.0	13.3	0.0
80～89歳	28	14.3	10.7	7.1	35.7	7.1	0.0	3.6
90歳以上	5	0.0	0.0	0.0	60.0	20.0	0.0	0.0
無回答	6	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)で「介護のため、プライベートの時間が確保できない」「身体的な負担が大きい」「介護保険制度の利用方法やサービスの選択が難しい」「協力してくれる人がいない／少ない」「当事者の認知機能低下が進行し、これまでのようにコミュニケーションが取れなくなる」、子どもと同居で「精神的なストレスが大きい」「当事者との適切な接し方、介護の仕方がわからない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	介護のため、プライベートの時間が確保できない	身体的な負担が大きい	精神的なストレスが大きい	経済的な負担が大きい	当事者との適切な接し方、介護の仕方がわからない	介護保険制度の利用方法やサービスの選択が難しい	認知症に関する周囲の理解がない
全 体	158	29.7	28.5	60.1	21.5	21.5	10.8	5.1
ひとり暮らし	36	30.6	22.2	52.8	19.4	25.0	5.6	0.0
夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	42	38.1	38.1	71.4	21.4	16.7	21.4	9.5
夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	10	30.0	20.0	40.0	10.0	0.0	10.0	0.0
子どもと同居	39	33.3	30.8	76.9	23.1	30.8	7.7	7.7
無回答	31	12.9	22.6	38.7	25.8	19.4	6.5	3.2

区分	回答者数(件)	周囲への協力の求め方がわからない	協力してくれる人がいない／少ない	介護のために仕事ができない、または十分に働けない	当事者の認知機能低下が進行し、これまでのようにコミュニケーションが取れなくなる	その他	特になし	無回答
全 体	158	7.6	8.9	7.6	38.6	9.5	8.9	3.8
ひとり暮らし	36	8.3	5.6	5.6	38.9	13.9	11.1	2.8
夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	42	7.1	14.3	11.9	45.2	14.3	4.8	0.0
夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	10	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0	20.0	30.0
子どもと同居	39	10.3	7.7	7.7	38.5	5.1	5.1	0.0
無回答	31	6.5	9.7	3.2	38.7	6.5	12.9	6.5

【当事者介護認定別】

当事者介護認定別にみると、要支援１、２から要介護４まで介護認定が上がるほど「身体的な負担が大きい」の割合が高い傾向にあり、要支援１、２から要介護３まで介護認定が上がるほど「当事者との適切な接し方、介護の仕方がわからない」の割合が高くなっています。また、要介護３で「介護のため、プライベートの時間が確保できない」、要介護１で「精神的なストレスが大きい」の割合が高くなっています。

分析では、要介護１のひとり暮らし、子どもと同居している人で「精神的なストレスが大きい」の割合が高く、要介護３の子どもと同居している人で「当事者の認知機能低下が進行し、これまでのようにコミュニケーションが取れなくなる」の割合が高くなっています。

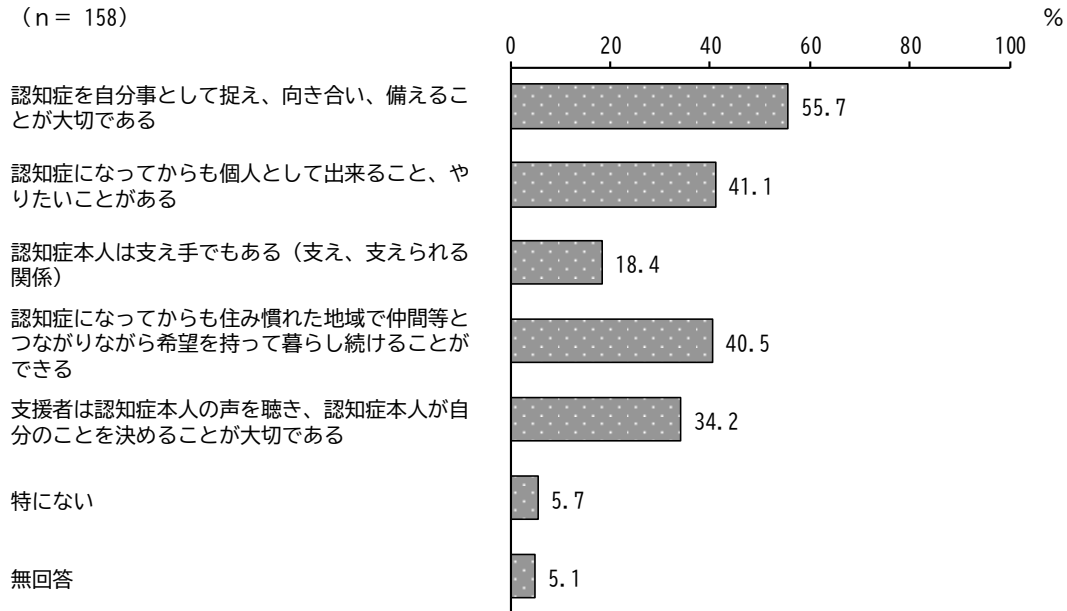
単位：％

区分	回答者数 (件)	介護のため、プライベートの時間が確保できない	身体的な負担が大きい	精神的なストレスが大きい	経済的な負担が大きい	当事者との適切な接し方、介護の仕方がわからない	介護保険制度の利用方法やサービスの選択が難しい	認知症に関する周囲の理解がない
全 体	152	30.3	29.6	60.5	21.7	21.7	10.5	4.6
要支援１、２	10	20.0	20.0	50.0	10.0	10.0	10.0	10.0
要介護１	50	36.0	28.0	76.0	20.0	18.0	16.0	6.0
要介護２	40	15.0	25.0	55.0	7.5	25.0	10.0	7.5
要介護３	24	41.7	33.3	58.3	37.5	33.3	4.2	0.0
要介護４	11	27.3	45.5	45.5	45.5	9.1	9.1	0.0
要介護５	14	42.9	42.9	57.1	35.7	21.4	7.1	0.0
無回答	3	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0

区分	回答者数 (件)	周囲への協力の求め方がわからない	協力してくれる人がいない／少ない	介護のために仕事ができないう、または十分に働けない	当事者の認知機能低下が進行し、これまでのようにコミュニケーションが取れなくなる	その他	特にない	無回答
全 体	152	6.6	7.9	7.2	40.1	8.6	8.6	3.9
要支援１、２	10	10.0	0.0	0.0	30.0	30.0	0.0	0.0
要介護１	50	10.0	12.0	12.0	28.0	10.0	8.0	4.0
要介護２	40	0.0	5.0	2.5	37.5	10.0	17.5	5.0
要介護３	24	12.5	8.3	8.3	58.3	0.0	4.2	0.0
要介護４	11	0.0	0.0	0.0	45.5	0.0	0.0	0.0
要介護５	14	7.1	14.3	14.3	64.3	7.1	7.1	0.0
無回答	3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7

問5 あなたが共感できる認知症の考え方はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「認知症を自分事として捉え、向き合い、備えることが大切である」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「認知症になってからも個人として出来ること、やりたいことがある」の割合が 41.1%、「認知症になってからも住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる」の割合が 40.5%となっています。



【回答者年代別】

回答者年代別にみると、65～90 歳以上まで年代が上がるほど「認知症本人は支え手でもある(支え、支えられる関係)」の割合が高く、60 歳代～80 歳代まで年代が下がるほど「認知症になってからも住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる」の割合が高くなっています。また、60～64 歳で「認知症を自分事として捉え、向き合い、備えることが大切である」、60 歳未満で「認知症になってからも個人として出来ること、やりたいことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	認知症を自分事として捉え、向き合い、備えることが大切である	認知症になってからも個人として出来ること、やりたいことがある	認知症本人は支え手でもある(支え、支えられる関係)	認知症になってからも住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる	支援者は認知症本人の声を聴き、認知症本人が自分のことを決めることが大切である	特にない	無回答
全 体	158	55.7	41.1	18.4	40.5	34.2	5.7	5.1
60歳未満	58	44.8	55.2	12.1	39.7	37.9	5.2	5.2
60～64歳	27	77.8	40.7	33.3	44.4	25.9	0.0	0.0
65～69歳	19	47.4	36.8	5.3	42.1	36.8	10.5	0.0
70～79歳	15	60.0	40.0	20.0	40.0	46.7	13.3	0.0
80～89歳	28	57.1	25.0	21.4	35.7	32.1	7.1	7.1
90歳以上	5	80.0	20.0	40.0	40.0	20.0	0.0	20.0
無回答	6	50.0	16.7	16.7	50.0	16.7	0.0	33.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「認知症を自分事として捉え、向き合い、備えることが大切である」、ひとり暮らしで「認知症になってからも個人として出来ること、やりたいことがある」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)で「認知症になってからも住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる」「支援者は認知症本人の声を聴き、認知症本人が自分のことを決めることが大切である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	認知症を自分事として捉え、向き合い、備えることが大切である	認知症になってからも個人として出来ること、やりたいことがある	認知症本人は支え手でもある(支え、支えられる関係)	認知症になってからも住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる	支援者は認知症本人の声を聴き、認知症本人が自分のことを決めることが大切である	特にない	無回答
全 体	158	55.7	41.1	18.4	40.5	34.2	5.7	5.1
ひとり暮らし	36	38.9	50.0	11.1	36.1	27.8	8.3	0.0
夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	42	64.3	31.0	19.0	50.0	45.2	7.1	7.1
夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	10	70.0	20.0	20.0	10.0	20.0	0.0	10.0
子どもと同居	39	56.4	46.2	17.9	43.6	28.2	7.7	5.1
無回答	31	58.1	45.2	25.8	38.7	38.7	0.0	6.5

【当事者介護認定別】

当事者介護認定別にみると、要支援1、2から要介護4まで介護認定が下がるほど「支援者は認知症本人の声を聴き、認知症本人が自分のことを決めることが大切である」の割合が高い傾向にあります。また、要介護3で「認知症を自分事として捉え、向き合い、備えることが大切である」の割合が高くなっています。

単位：％

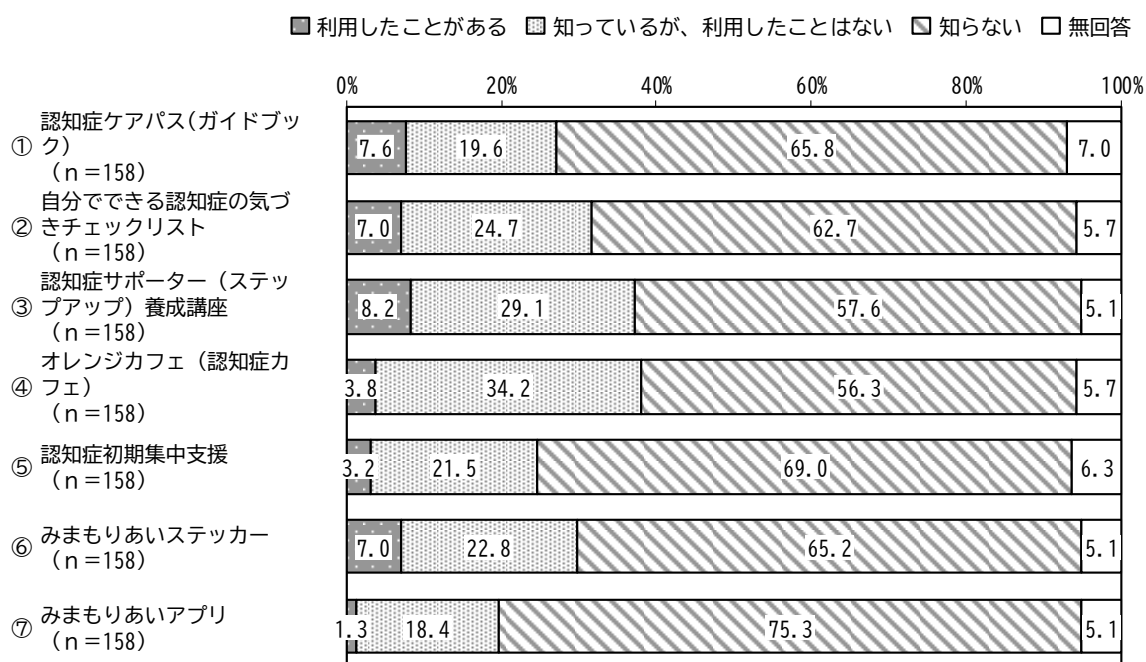
区分	回答者数(件)	認知症を自分事として捉え、向き合い、備えることが大切である	認知症になってからも個人として出来ること、やりたいことがある	認知症本人は支え手でもある(支え、支えられる関係)	認知症になってからも住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる	支援者は認知症本人の声を聴き、認知症本人が自分のことを決めることが大切である	特にない	無回答
全 体	152	54.6	40.8	17.8	40.1	34.2	5.9	5.3
要支援1、2	10	40.0	60.0	20.0	40.0	50.0	10.0	0.0
要介護1	50	60.0	42.0	16.0	44.0	38.0	2.0	10.0
要介護2	40	47.5	37.5	20.0	40.0	27.5	12.5	2.5
要介護3	24	70.8	41.7	12.5	41.7	29.2	0.0	0.0
要介護4	11	36.4	18.2	0.0	18.2	27.3	9.1	0.0
要介護5	14	57.1	50.0	42.9	50.0	42.9	7.1	0.0
無回答	3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7

5. 認知症施策について

問6 認知症の人が尊厳をもち、希望を持って暮らすことができる共生社会の実現に向けて、市では以下の取り組みを行っています。あなたは、次の取り組みをご存じですか。また、今後利用してみたいと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

利用経験

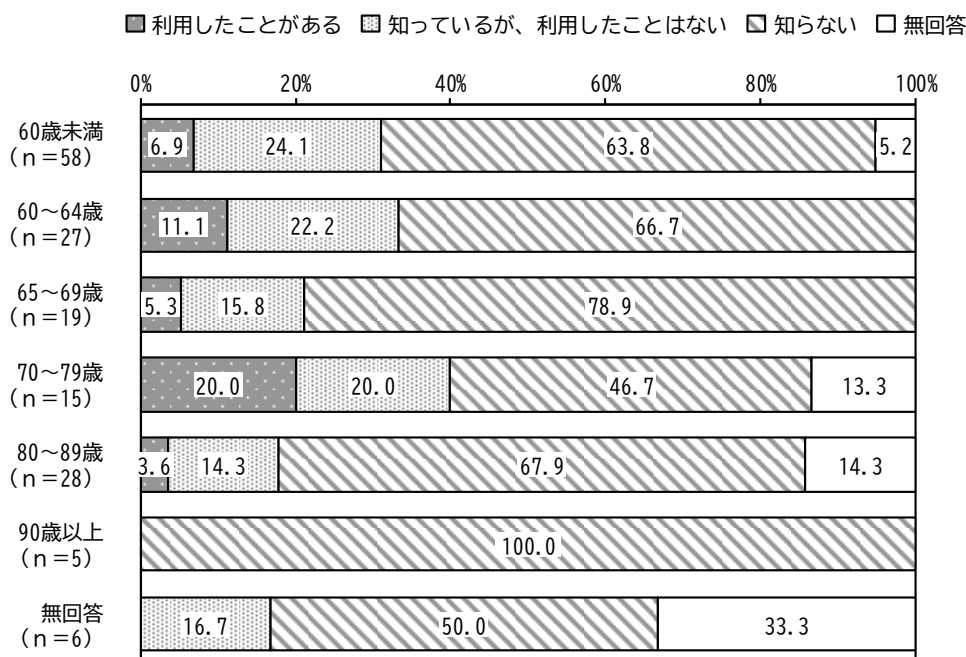
いずれの取り組みも「知らない」が最も高くなっていますが、他の取り組みに比べて、『③認知症サポーター（ステップアップ）養成講座』で「利用したことがある」が高くなっています。



①認知症ケアパス(ガイドブック)

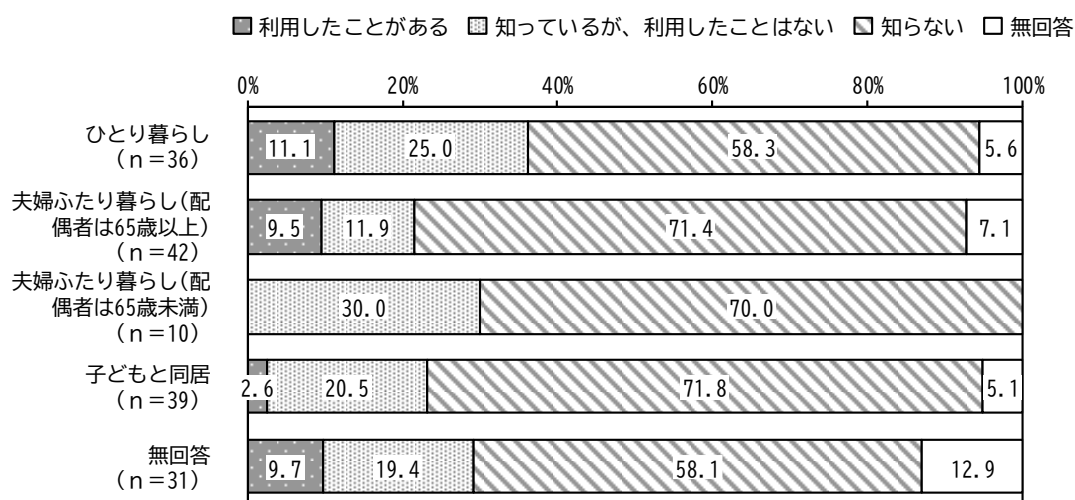
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、他の年代に比べて、70～79歳で「利用したことがある」、65～69歳で「知らない」の割合が高くなっています。



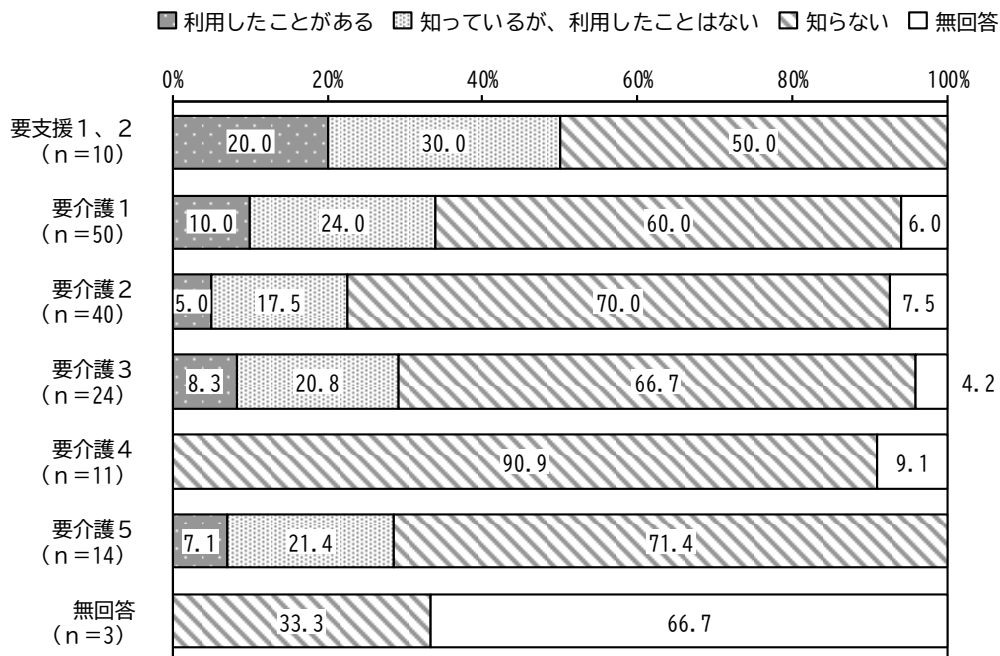
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「知っているが、利用したことはない」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)、子どもと同居で「知らない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

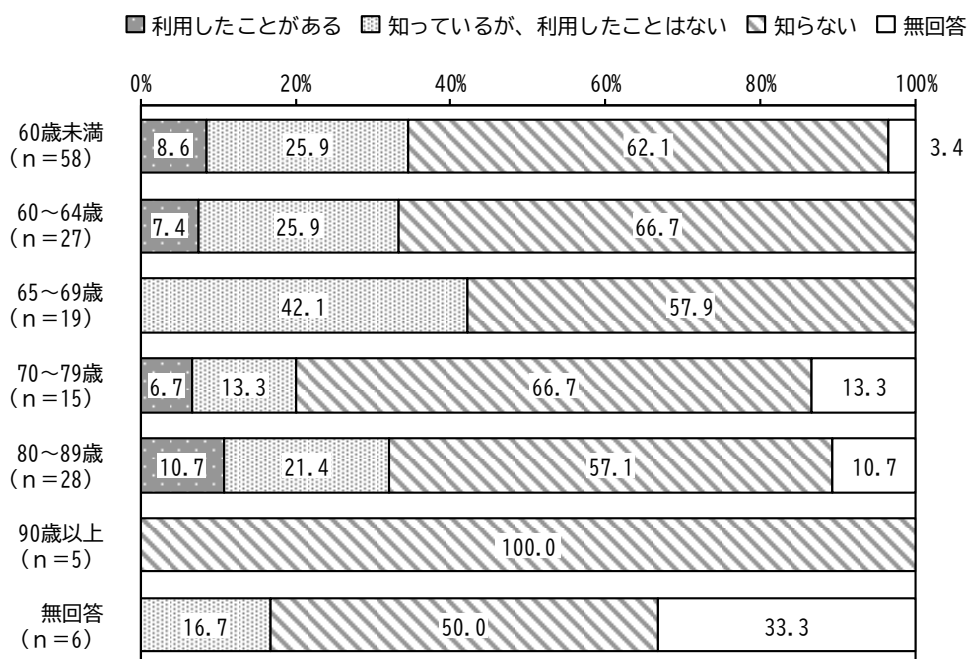
当事者介護認定別にみると、他の介護認定に比べて、要支援1、2で「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」、要介護4で「知らない」の割合が高くなっています。



②自分でできる認知症の気づきチェックリスト

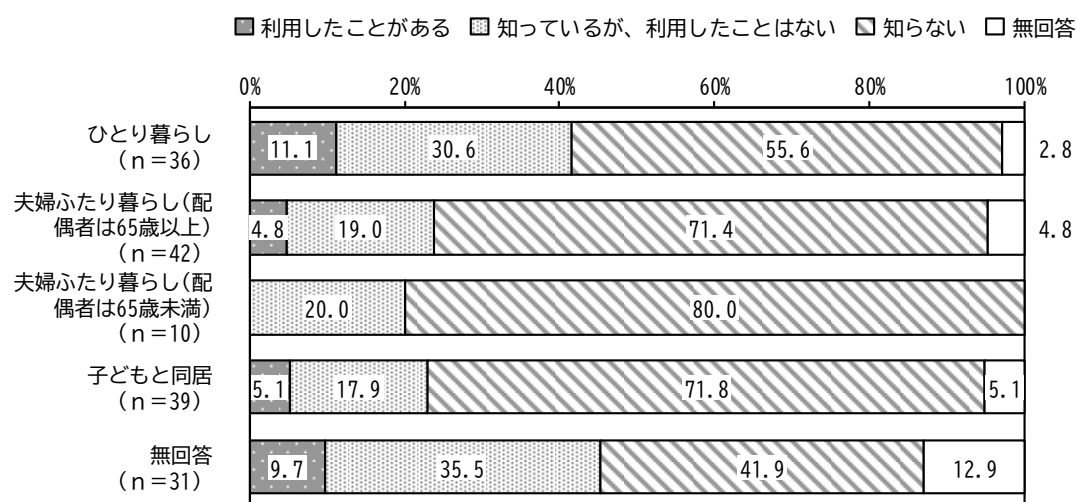
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、他の年代に比べて、65～69 歳で「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



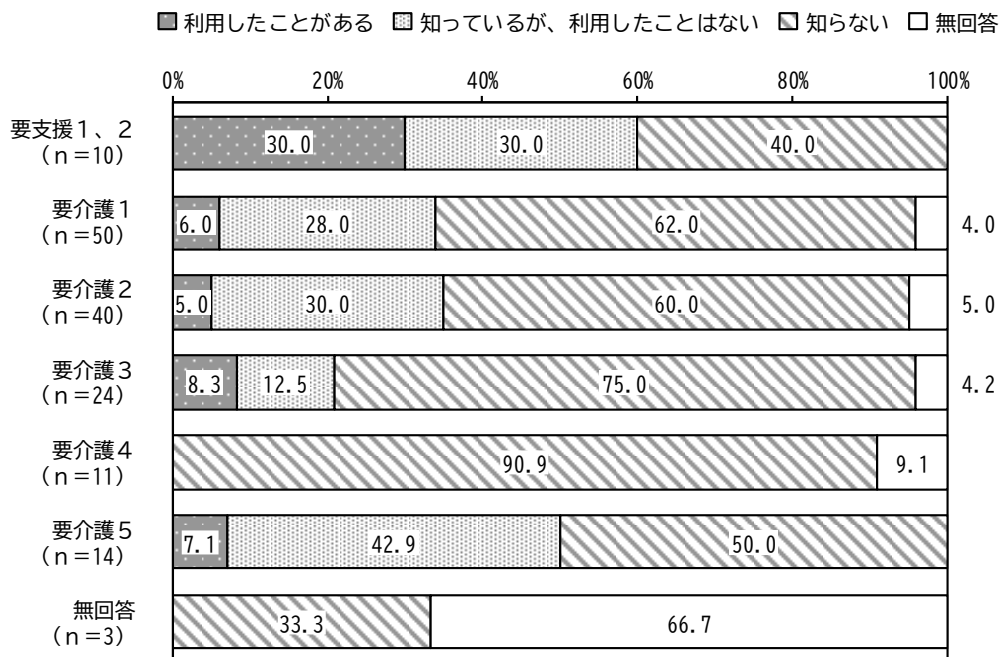
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、ひとり暮らしで「知っているが、利用したことはない」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「知らない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

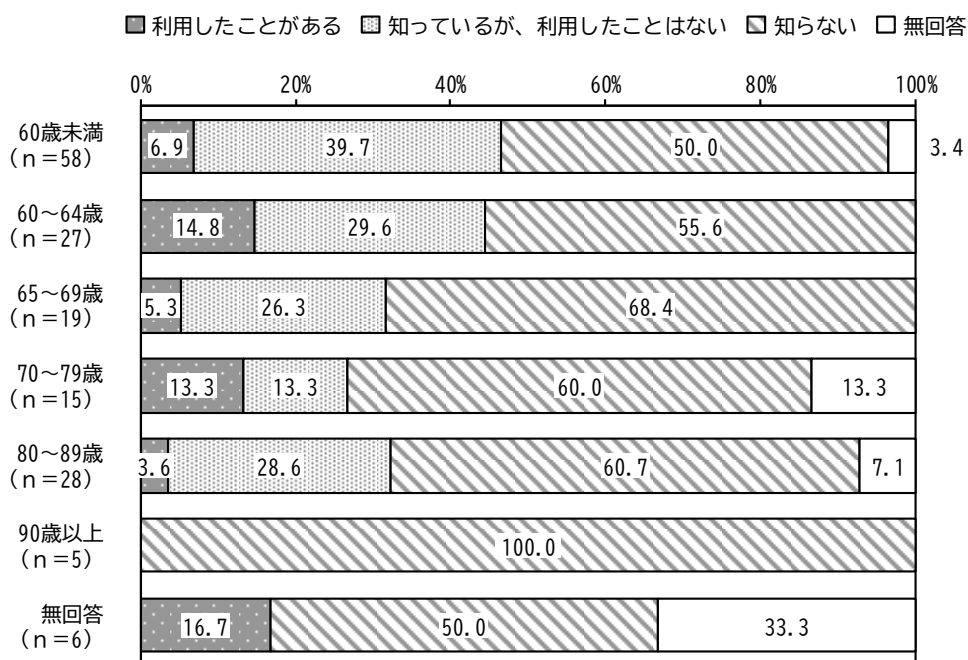
当事者介護認定別にみると、要支援1、2から要介護4まで介護認定が上がるほど「知らない」の割合が高い傾向にあり、「知っているが、利用したことはない」の割合が低い傾向にあります。



③認知症サポーター（ステップアップ）養成講座

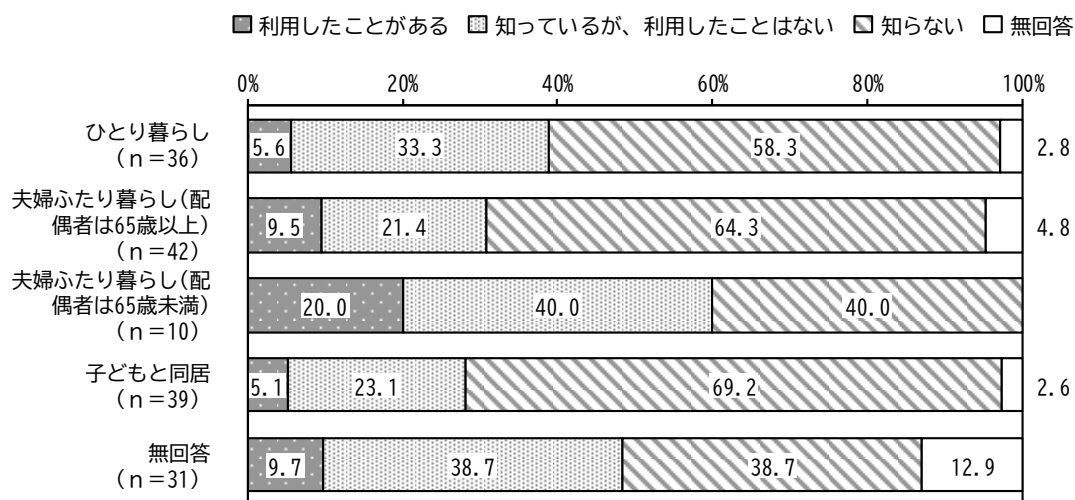
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、60歳未満から70歳代まで年代が下がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



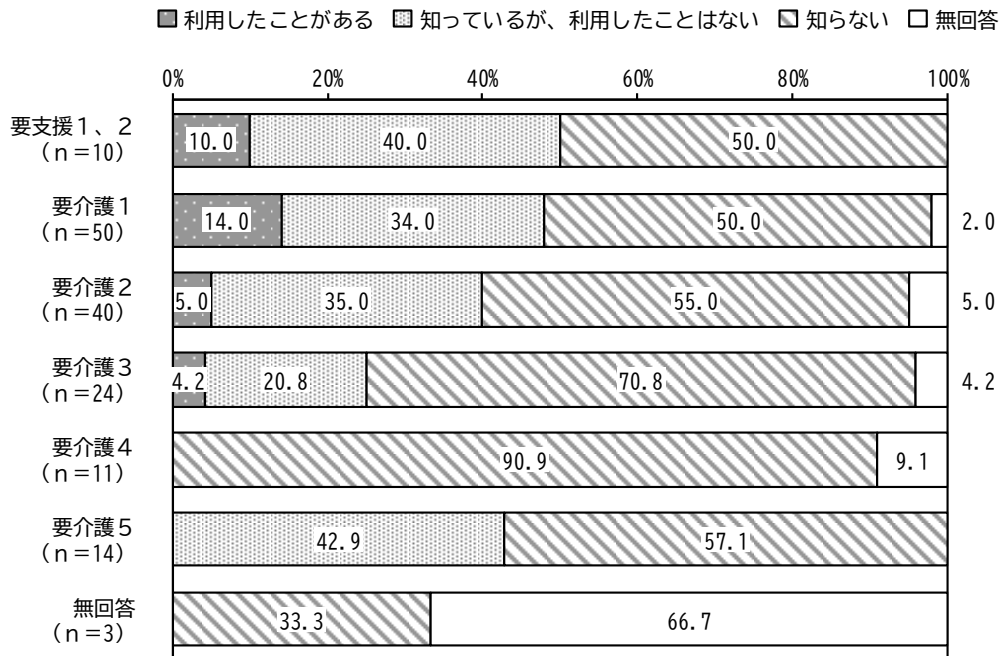
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「利用したことがある」「知っているが、利用したことはない」、子どもと同居で「知らない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

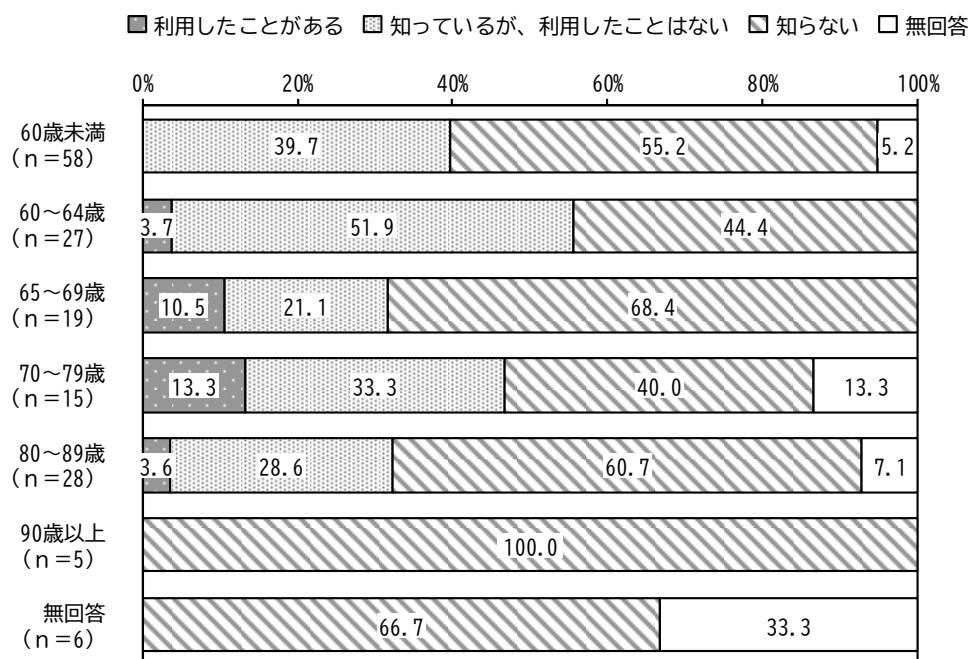
当事者介護認定別にみると、要介護1から要介護5まで介護認定が下がるほど「利用したことがある」の割合が高い傾向にあります。



④オレンジカフェ（認知症カフェ）

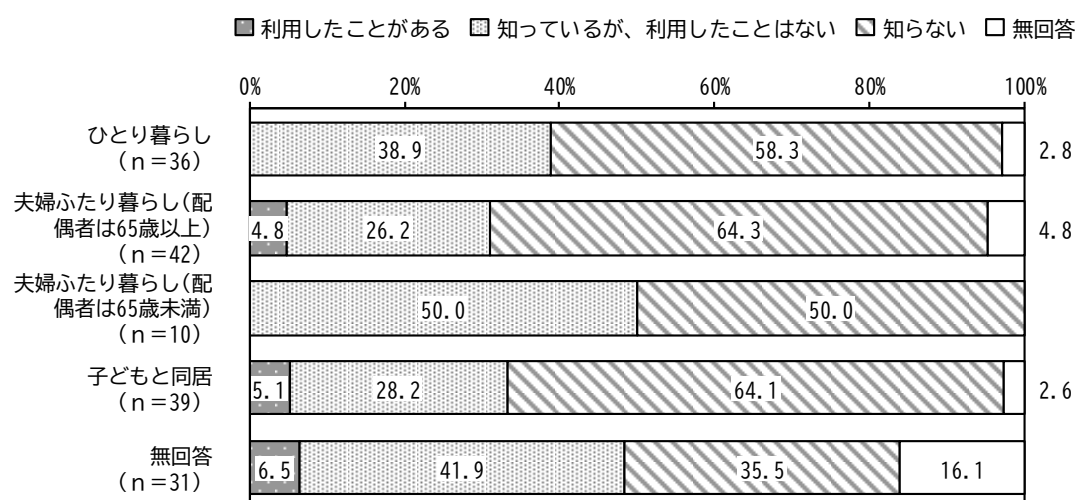
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、60歳未満～70歳代まで年代が上がるほど「利用したことがある」の割合が高くなっています。また、60～64歳で「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



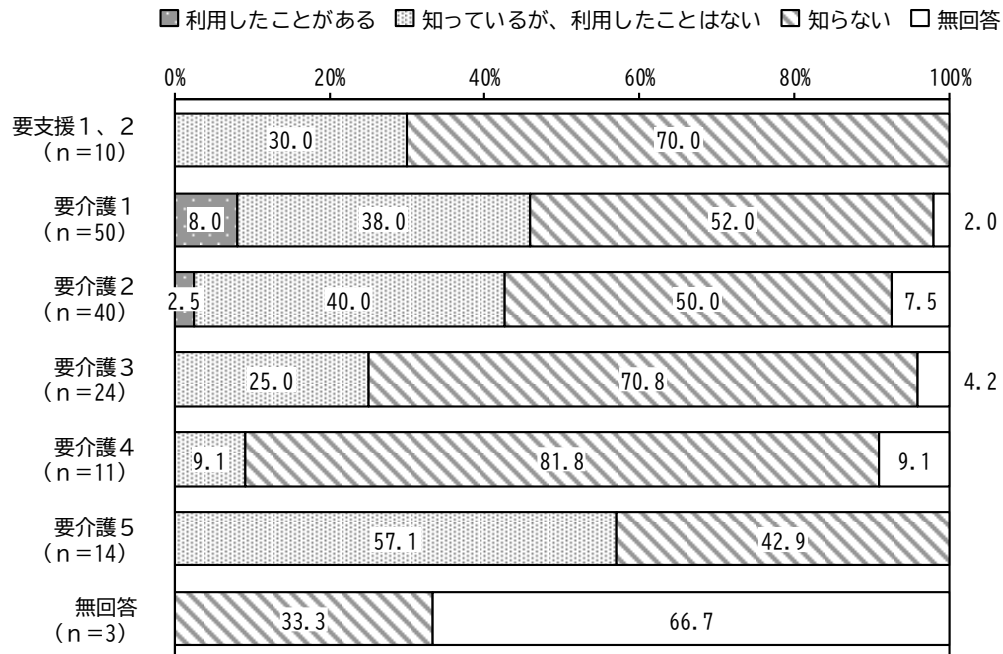
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「知っているが、利用したことはない」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)、子どもと同居で「知らない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

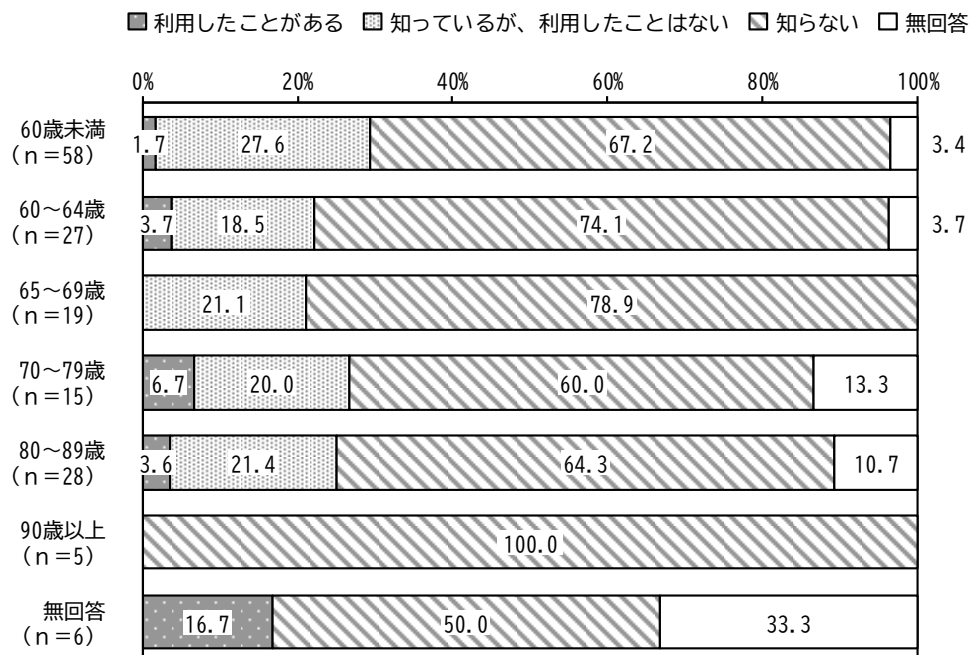
当事者介護認定別にみると、他の介護認定に比べて、要介護5で「知っているが、利用したことはない」、要介護4で「知らない」の割合が高くなっています。



⑤認知症初期集中支援

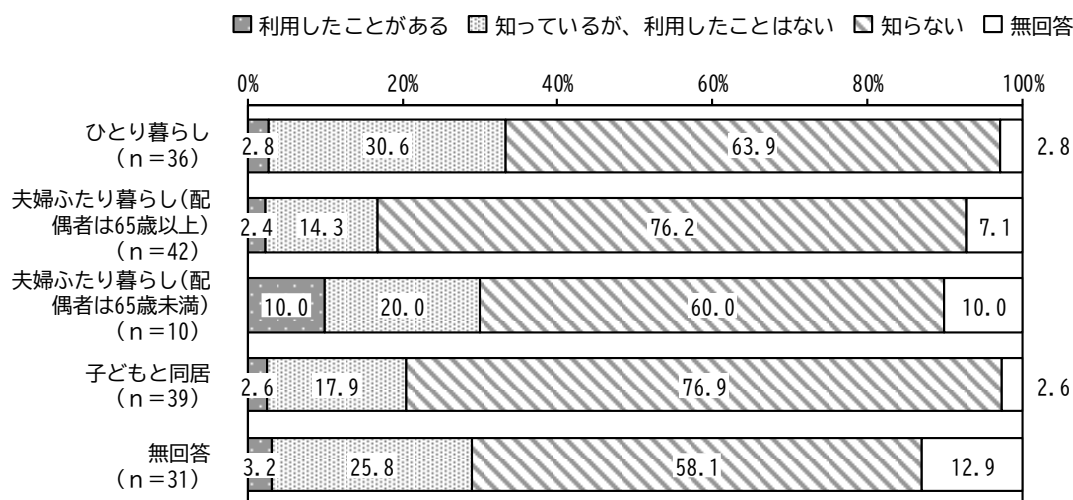
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、他の年代に比べて、60歳未満で「知っているが、利用したことはない」、65～69歳で「知らない」の割合が高くなっています。



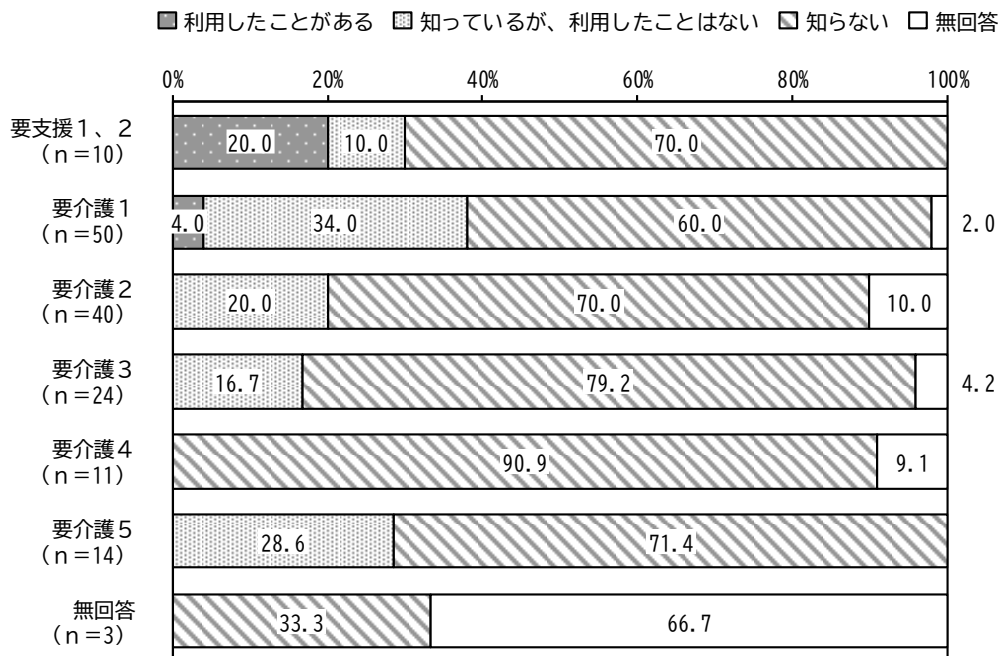
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「利用したことがある」、ひとり暮らしで「知っているが、利用したことはない」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)、子どもと同居で「知らない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

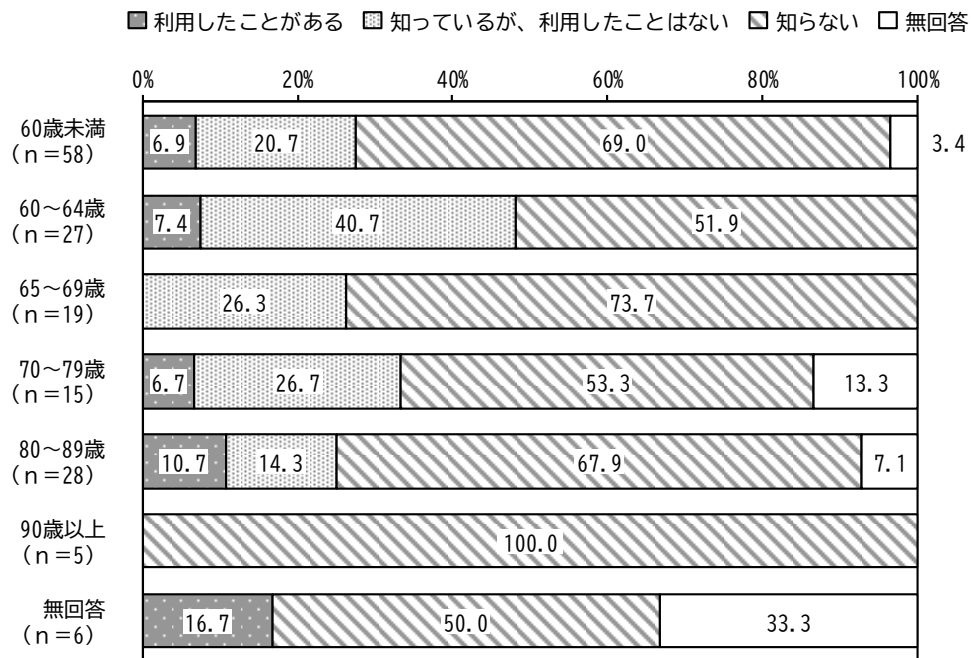
当事者介護認定別にみると、要介護1から要介護4まで介護認定が上がるほど「知らない」の割合が高く、「知っているが、利用したことはない」の割合が低くなっています。



⑥みまもりあいステッカー

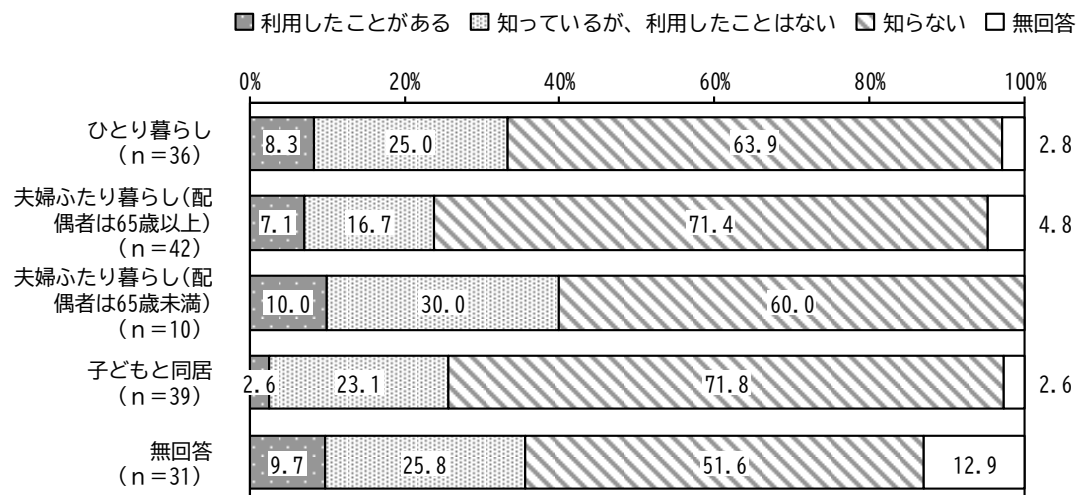
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、60歳代～90歳以上まで年代が下がるほど「知っているが、利用したことはない」の割合が高い傾向にあります。また、60～64歳で「知らない」の割合が低くなっています。



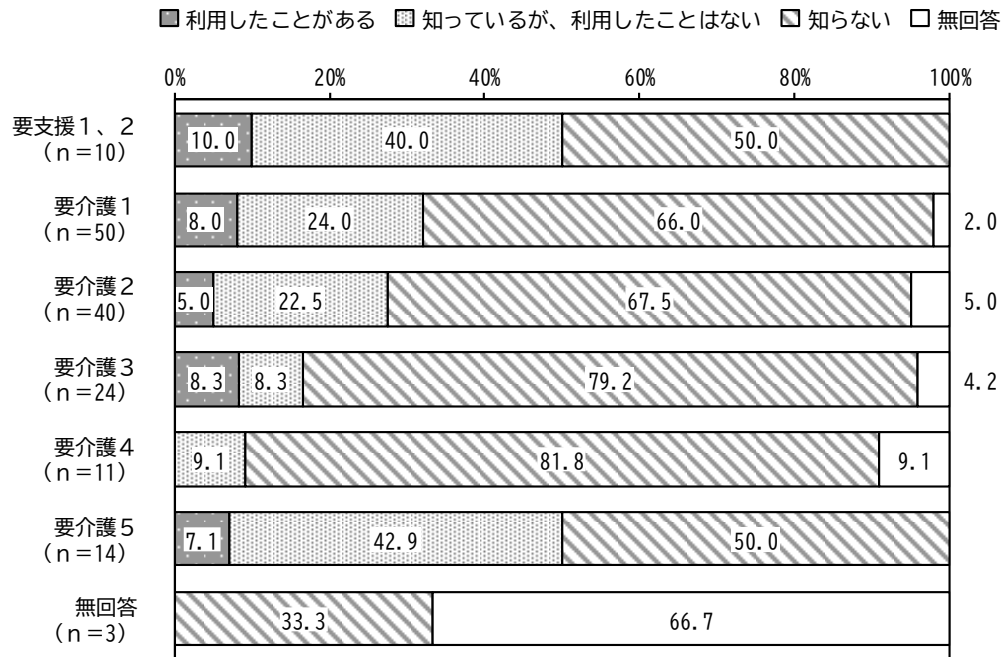
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「知っているが、利用したことはない」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)、子どもと同居で「知らない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

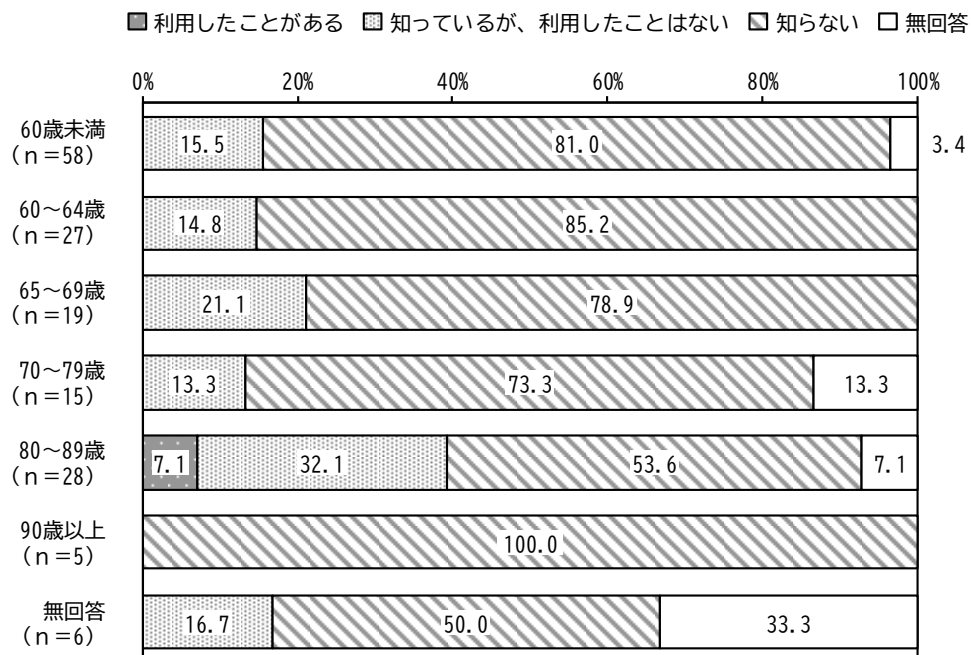
当事者介護認定別にみると、要支援1、2から要介護4まで介護認定が上がるほど「知らない」の割合が高くなっています。



⑦みまもりあいアプリ

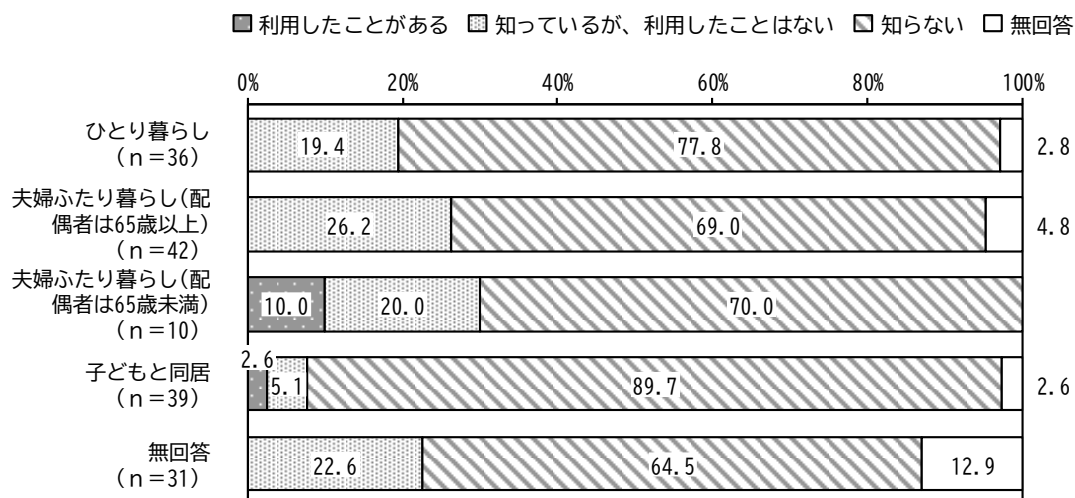
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、他の年代に比べて、80～89歳で「知っているが、利用したことはない」の割合が高く、「知らない」の割合が低くなっています。



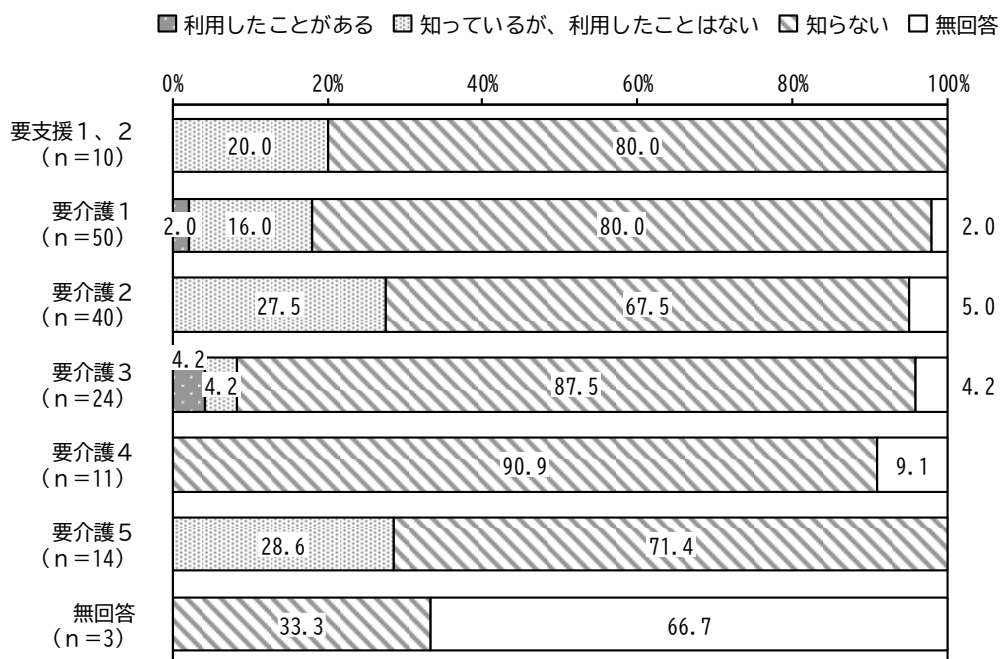
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、子どもと同居で「知らない」の割合が高く、「知っているが、利用したことはない」の割合が低くなっています。



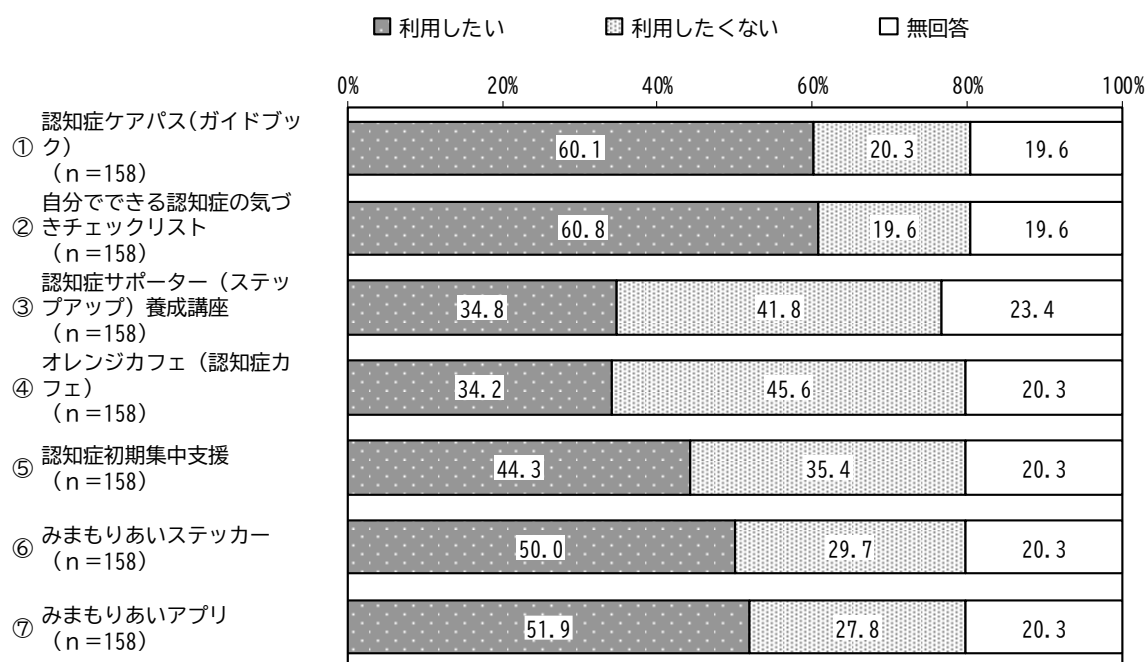
【当事者介護認定別】

当事者介護認定別にみると、他の介護認定に比べて、要介護2、要介護5で「知っているが、利用したことはない」、要介護4で「知らない」の割合が高くなっています。



今後の利用意向

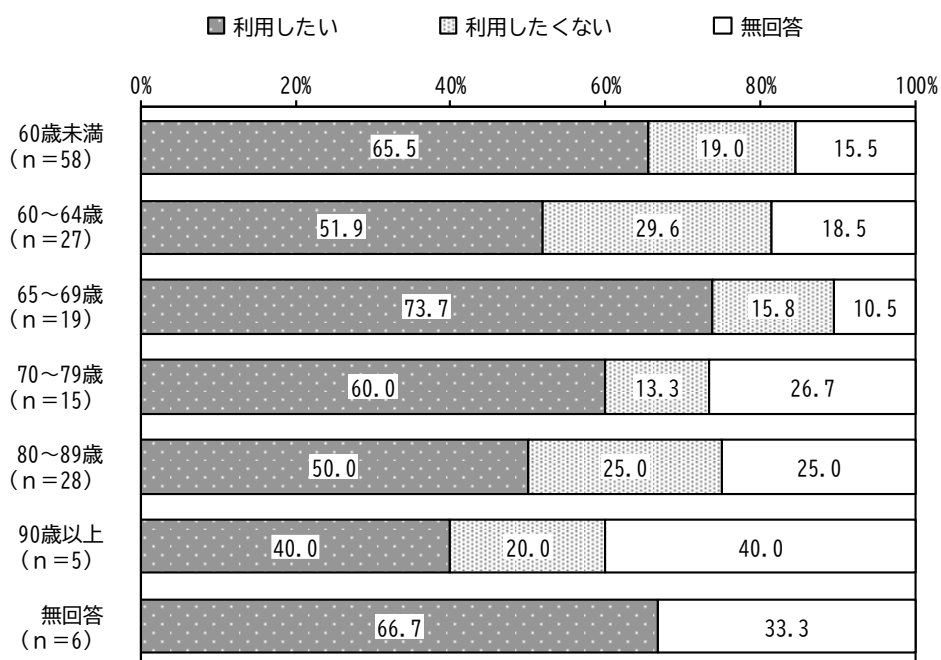
『①認知症ケアパス(ガイドブック)』『②自分でできる認知症の気づきチェックリスト』で「利用したい」が、『③認知症サポーター（ステップアップ）養成講座』『④オレンジカフェ（認知症カフェ）』で「利用したくない」が高くなっています。



①認知症ケアパス(ガイドブック)

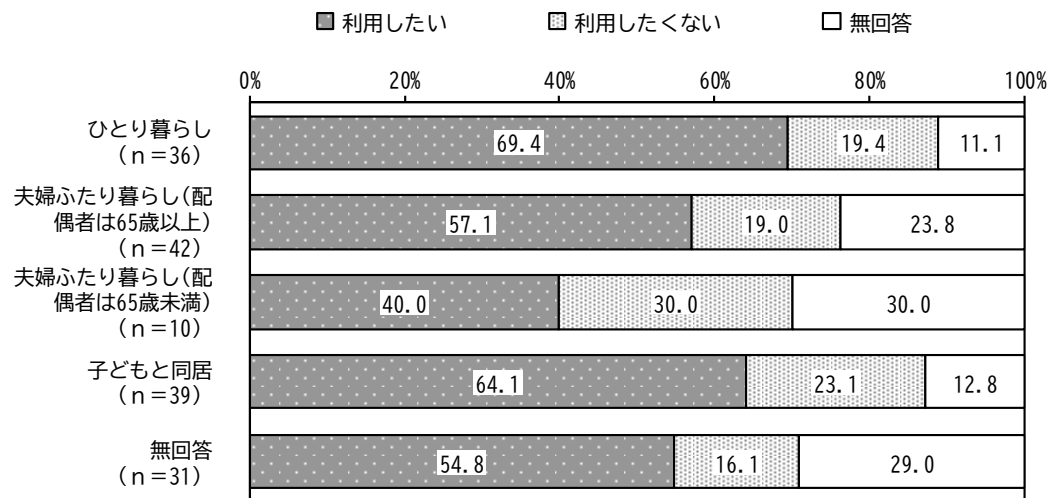
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、65歳～90歳以上まで年代が下がるほど「利用したい」の割合が高くなっています。



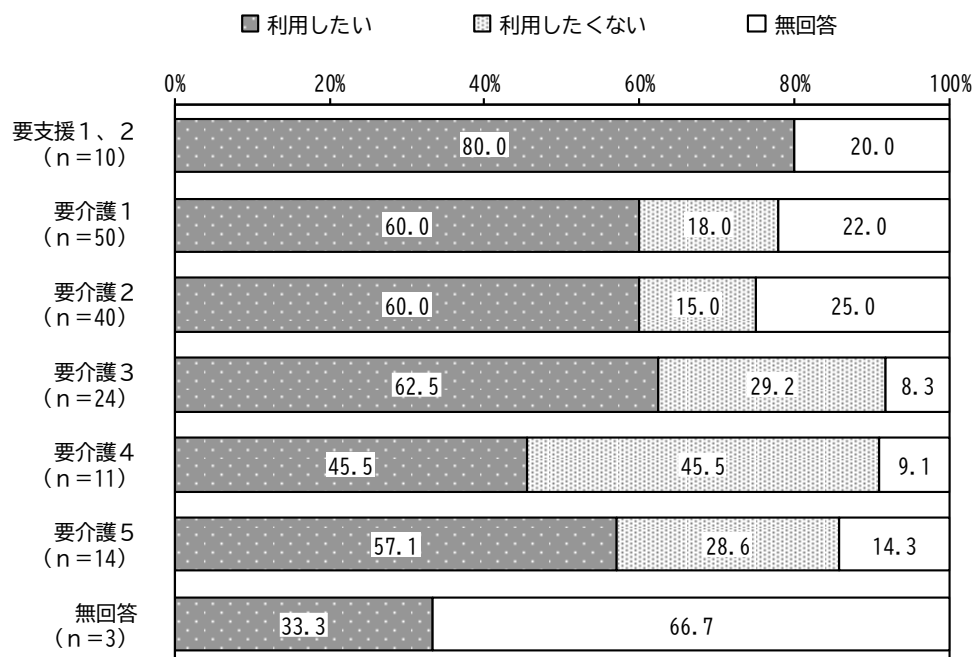
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「利用したい」の割合が低くなっています。



【当事者介護認定別】

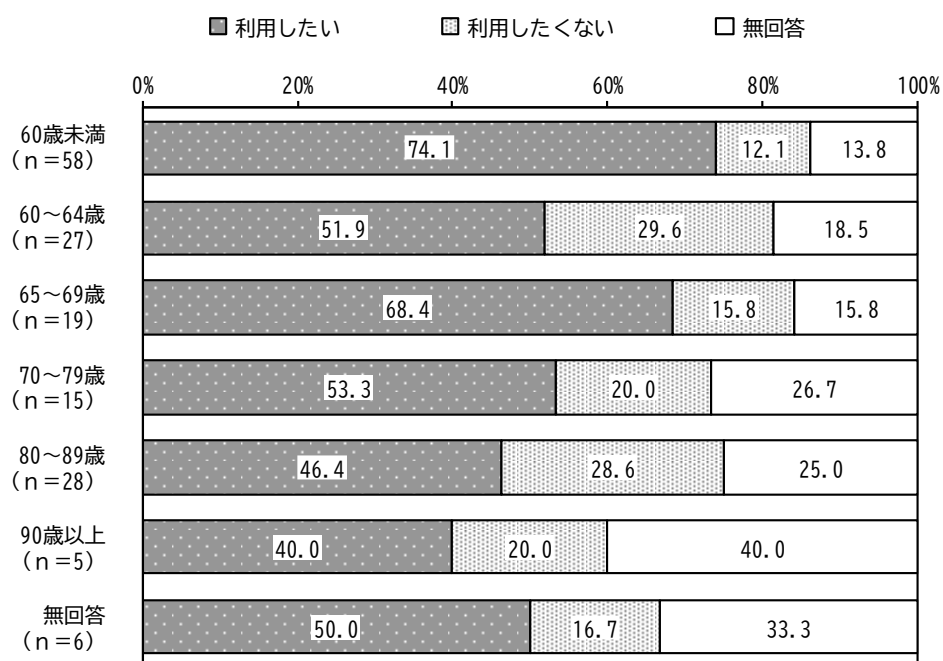
当事者介護認定別にみると、要支援1、2から要介護4まで介護認定が上がるほど「利用したくない」の割合が高くなる傾向にあります。



②自分でできる認知症の気づきチェックリスト

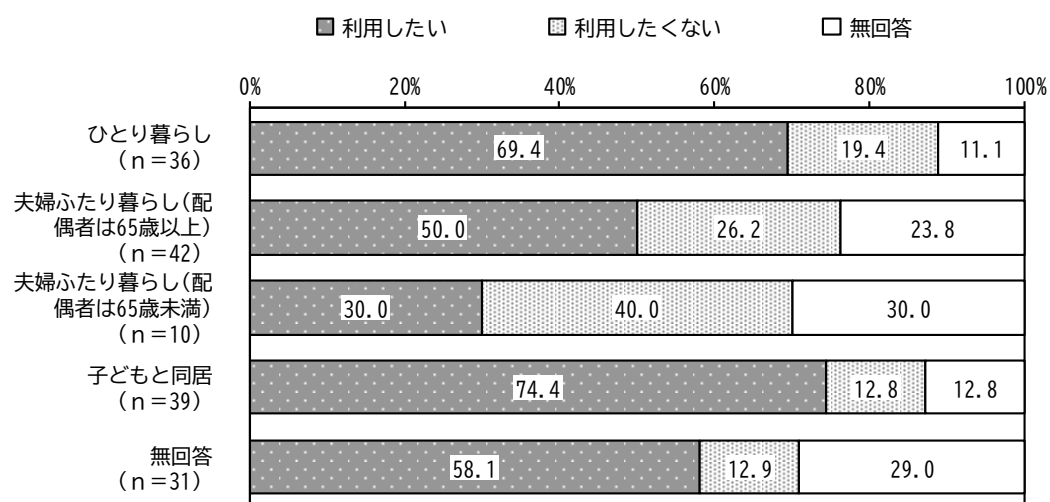
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、65歳～90歳以上まで年代が下がるほど「利用したい」の割合が高くなっています。



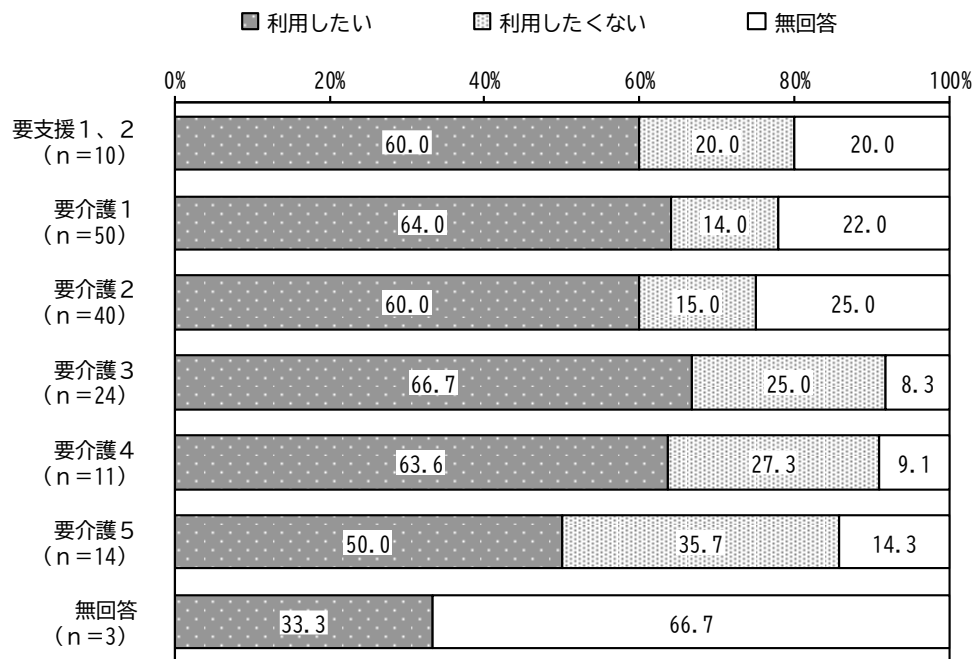
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、子どもと同居で「利用したい」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

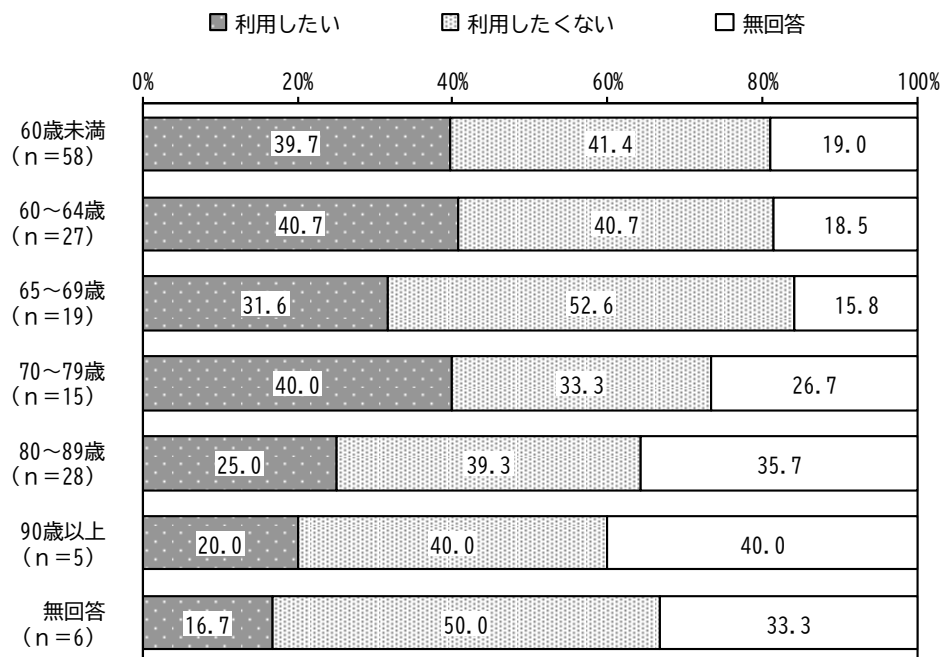
当事者介護認定別にみると、要介護1から要介護5まで介護認定が上がるほど「利用したくない」の割合が高くなっています。



③認知症サポーター（ステップアップ）養成講座

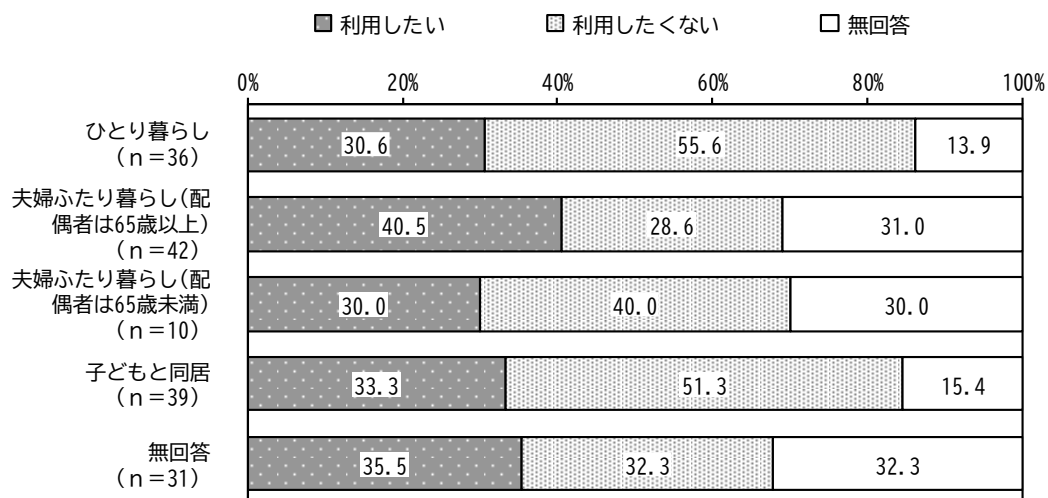
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、他の年代に比べて、65～69歳で「利用したくない」の割合が高くなっています。



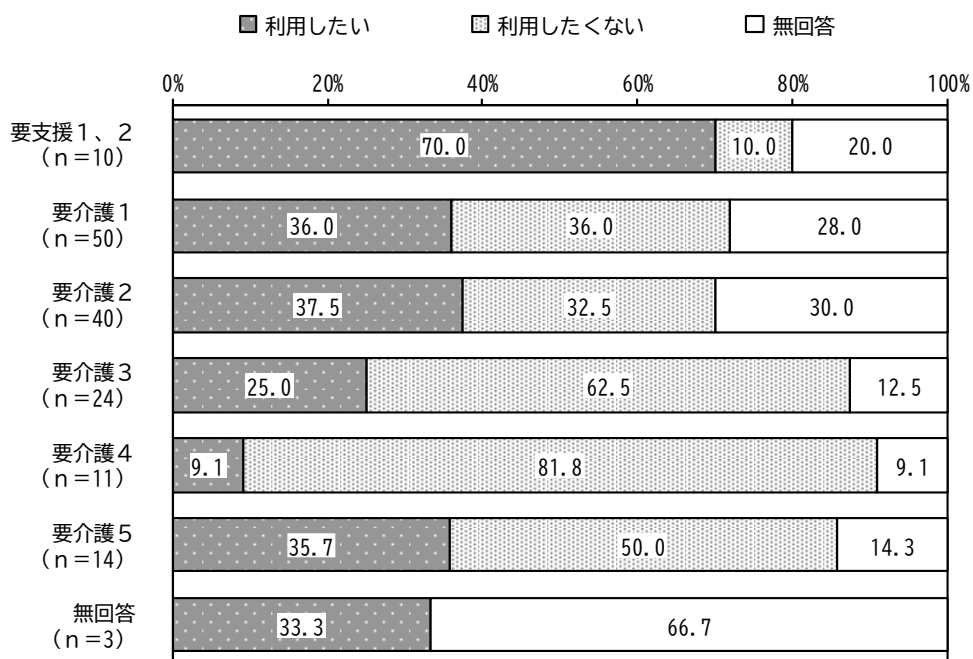
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、ひとり暮らしで「利用したくない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

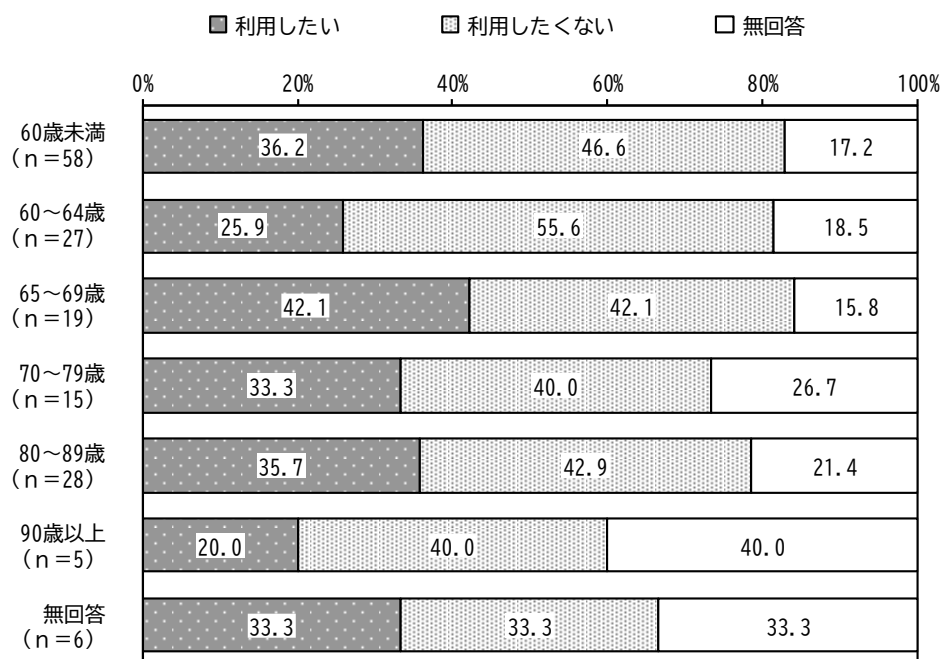
当事者介護認定別にみると、要支援1、2から要介護4まで介護認定が下がるほど「利用したい」の割合が高い傾向にあります。



④オレンジカフェ（認知症カフェ）

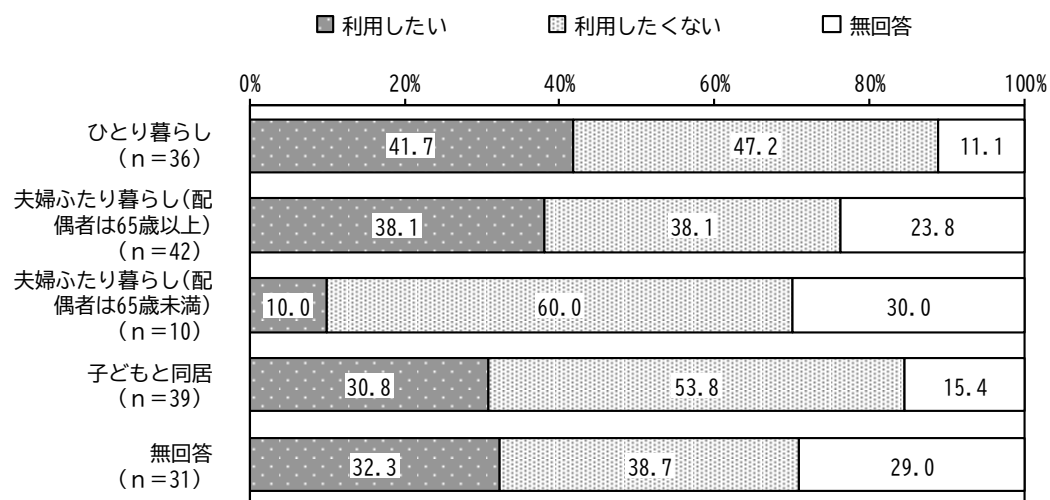
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、60～64歳で「利用したくない」の割合が高くなっています。



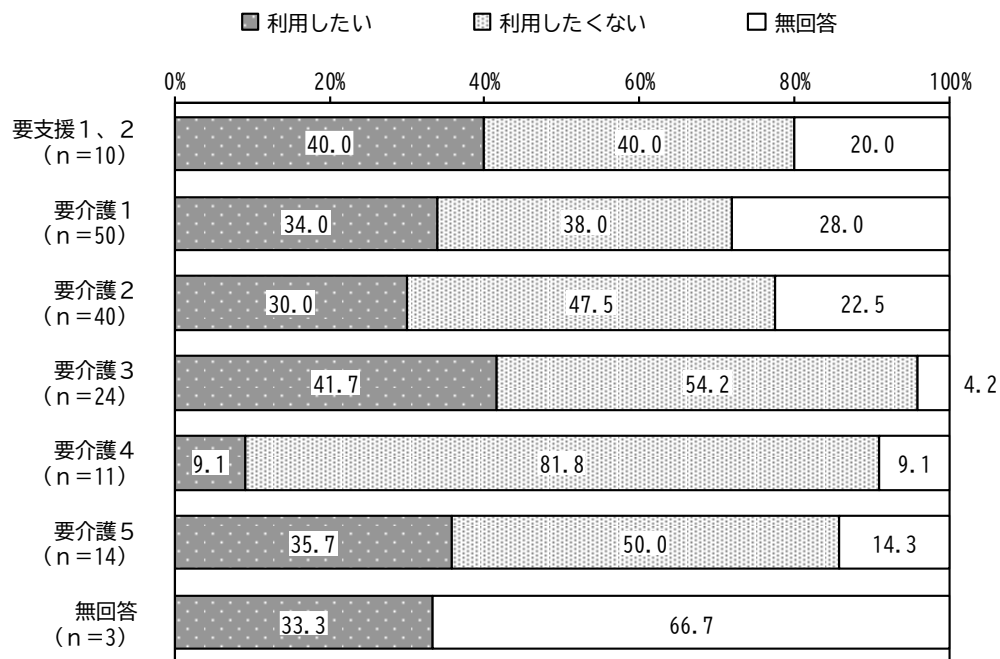
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

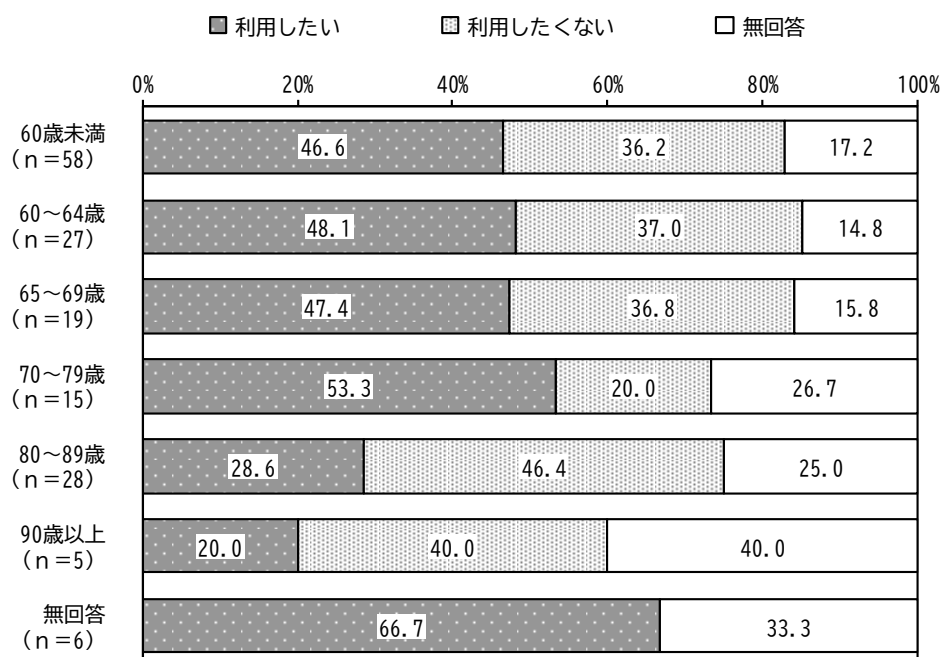
当事者介護認定別にみると、要介護1から要介護4まで介護認定が上がるほど「利用したくない」の割合が高くなっています。



⑤認知症初期集中支援

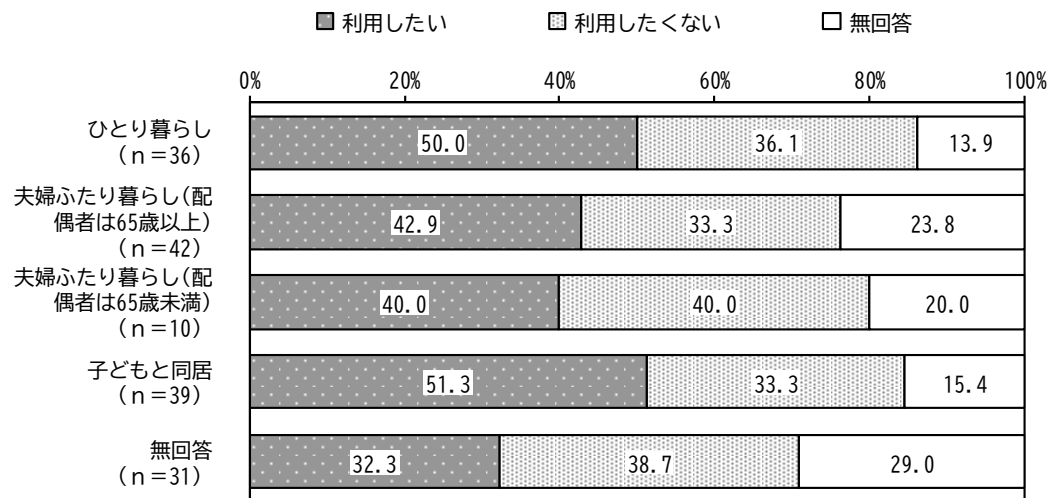
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、他の年代に比べて、80～89歳で「利用したくない」の割合が高くなっています。



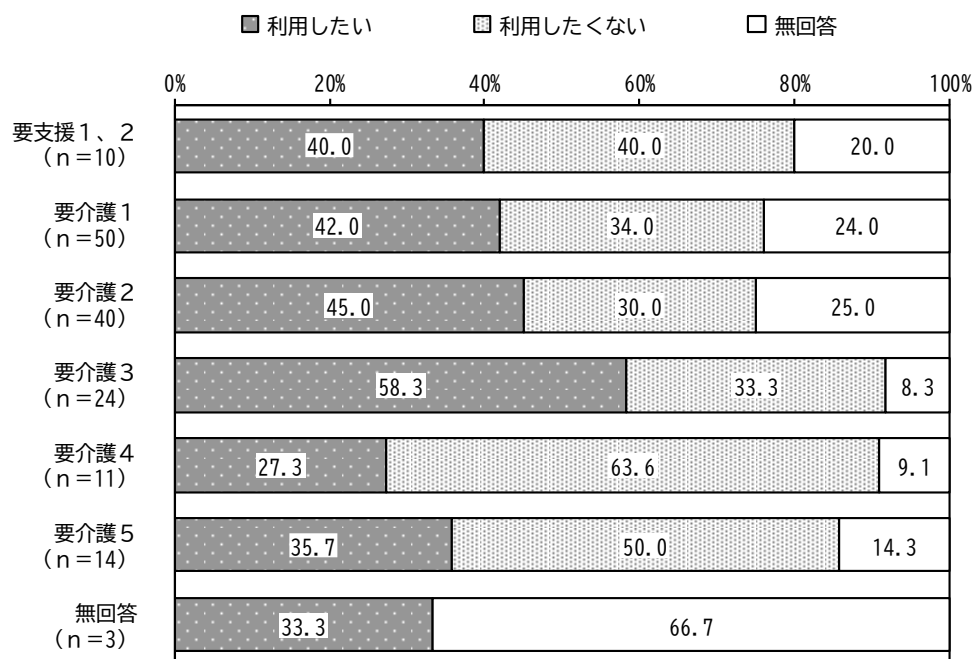
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、ひとり暮らし、子どもと同居で「利用したい」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

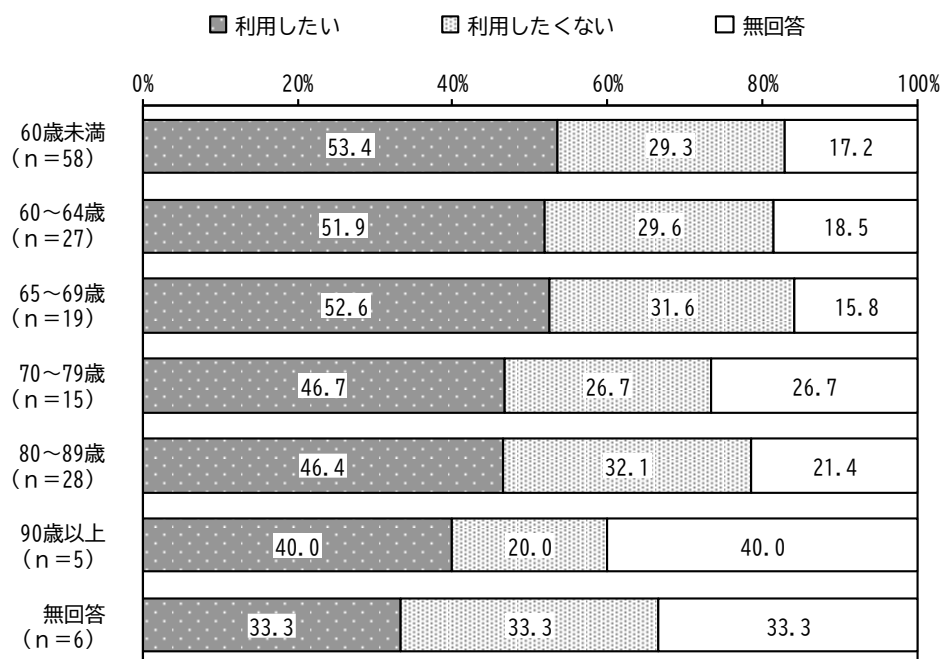
当事者介護認定別にみると、要支援1、2から要介護3まで介護認定が上がるほど「利用したい」の割合が高くなっています。



⑥みまもりあいステッカー

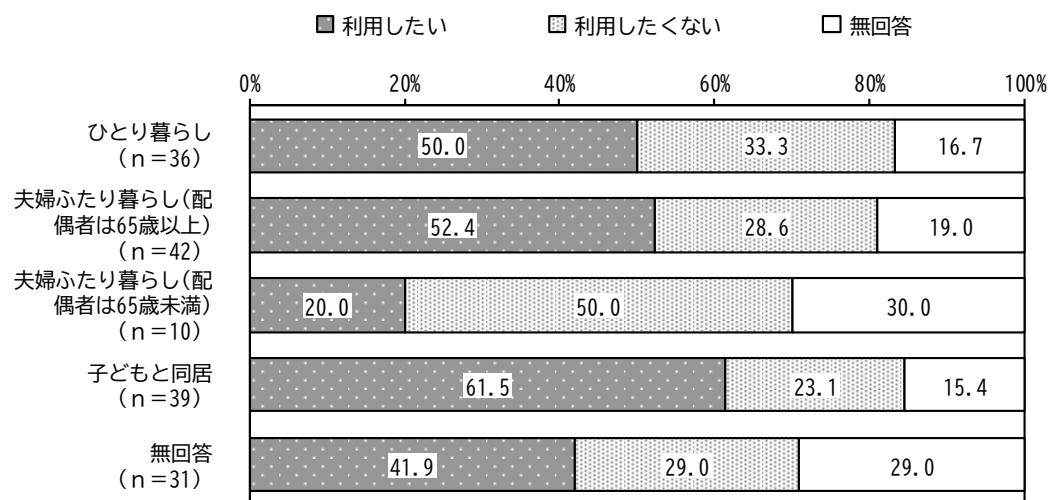
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、年代が下がるほど「利用したい」の割合が高い傾向にあります。



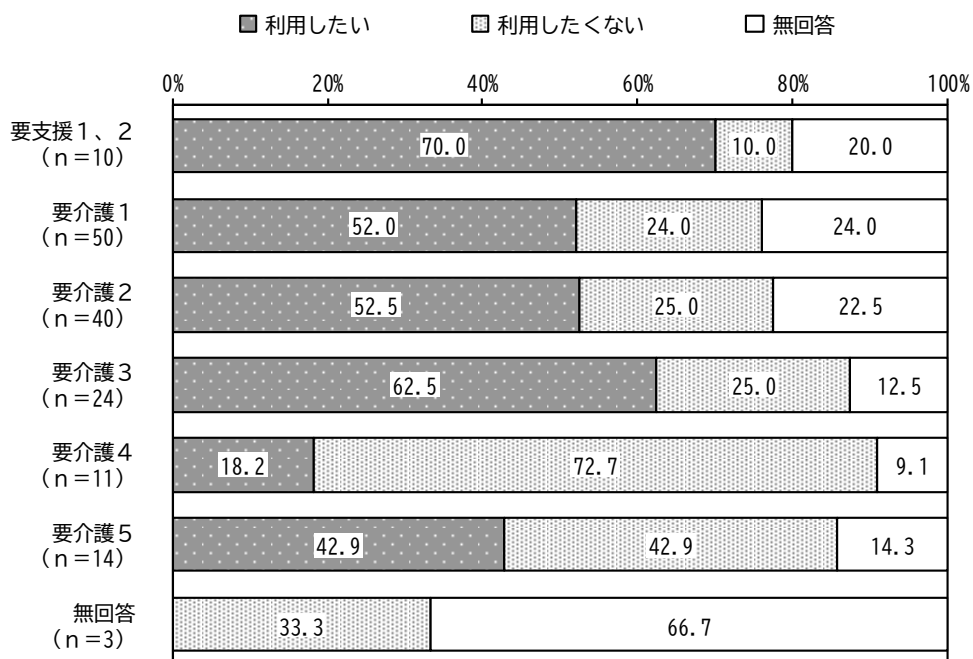
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、子どもと同居で「利用したい」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「利用したくない」の割合が高くなっています。



【当事者介護認定別】

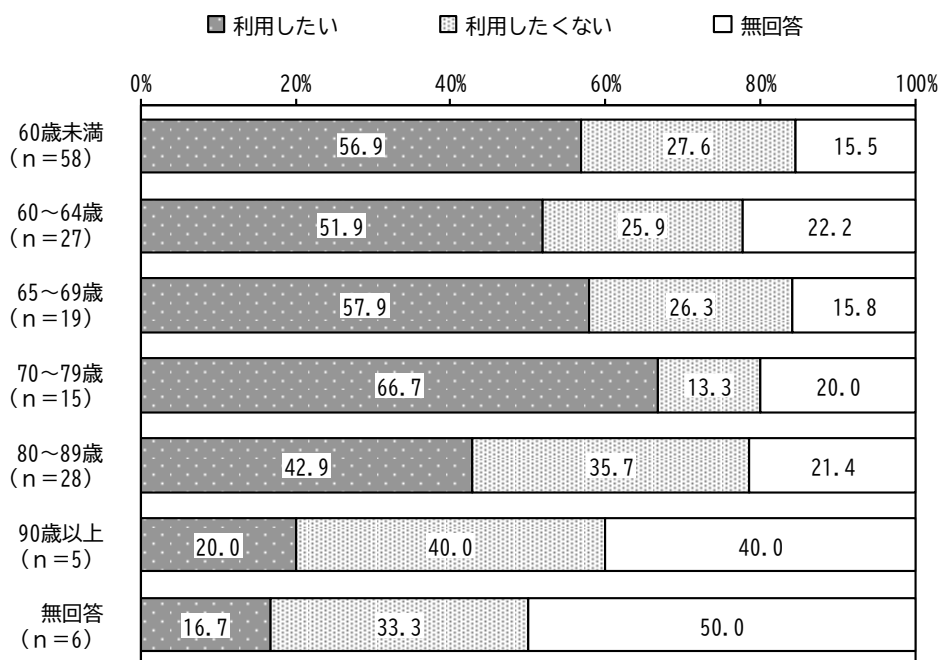
当事者介護認定別にみると、他の介護認定に比べて、要支援1、2で「利用したい」、要介護4で「利用したくない」の割合が高くなっています。



⑦みまもりあいアプリ

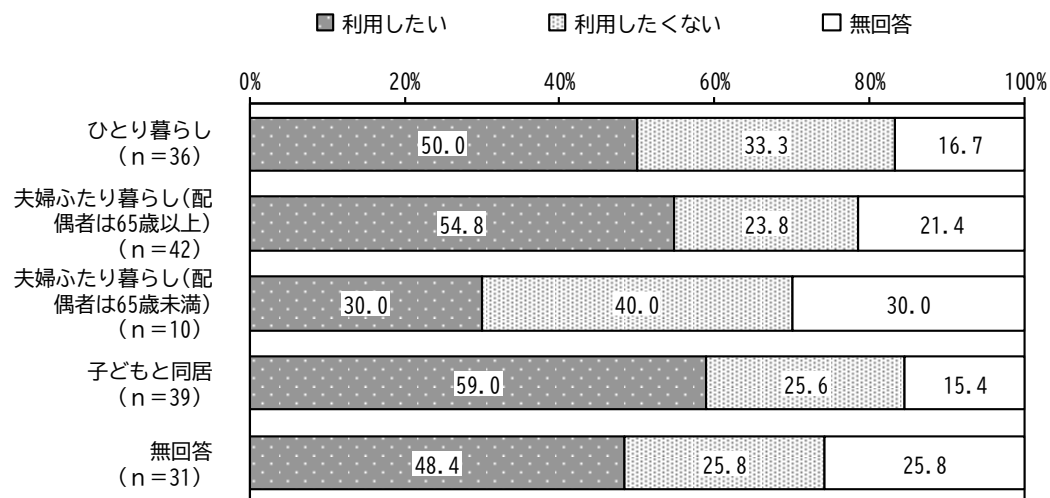
【回答者年代別】

回答者年代別にみると、他の年代に比べて、70～79歳で「利用したい」の割合が高くなっています。



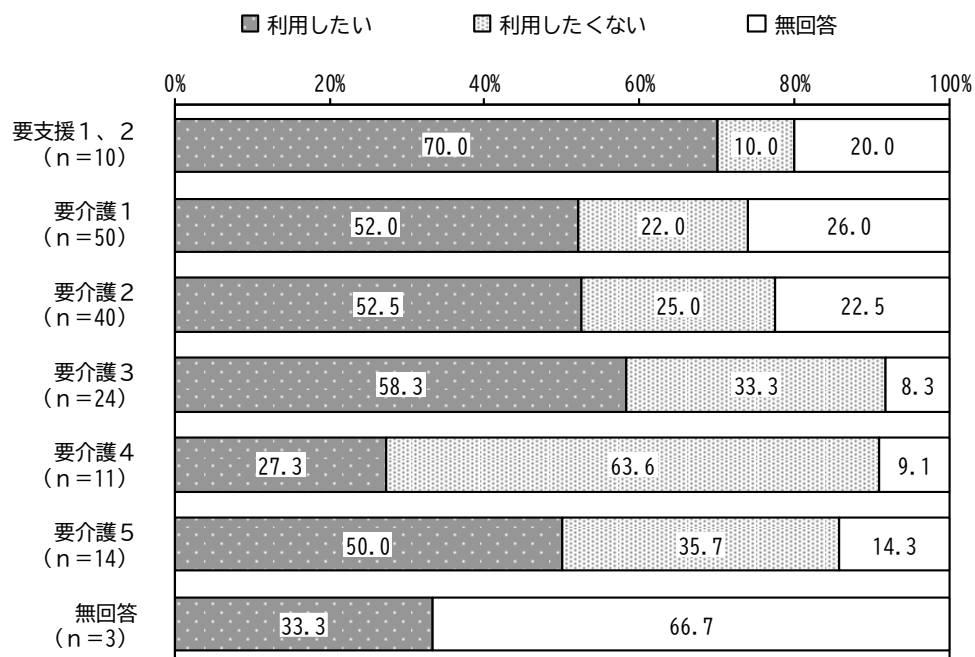
【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「利用したくない」の割合が高くなっています。



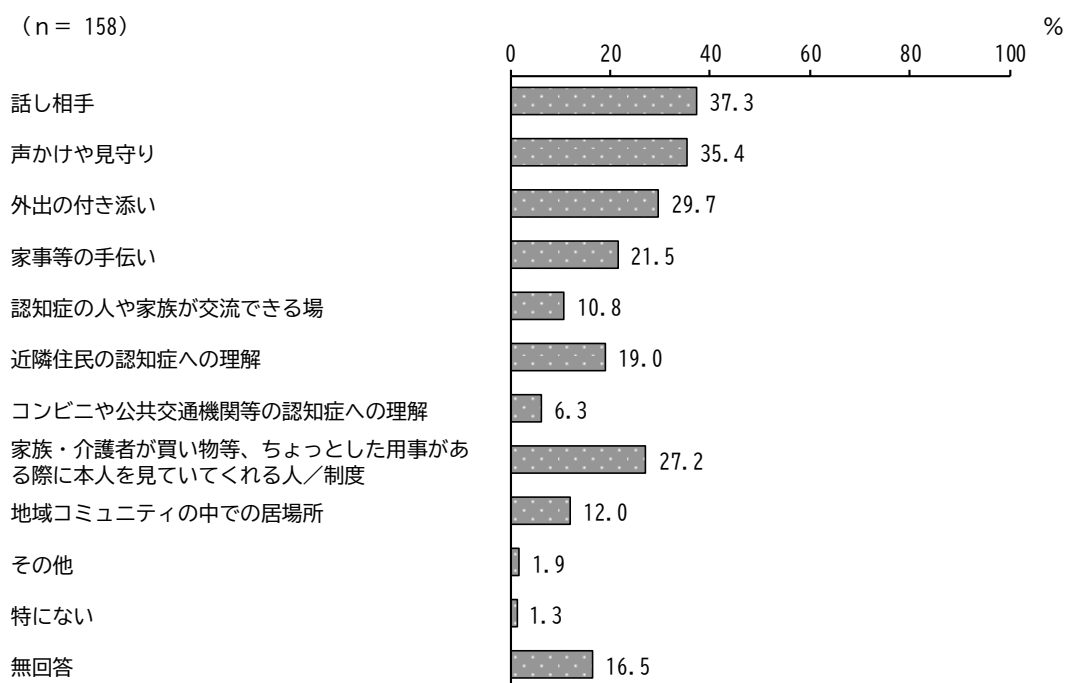
【当事者介護認定別】

当事者介護認定別にみると、要支援1、2から要介護4まで介護認定が上がるほど「利用したくない」の割合が高くなっています。



問7 認知症の人も暮らしやすい社会にするために、どのようなサポートが必要だと思いますか。(特にあてはまるもの3つまでを選択し○)

「話し相手」の割合が37.3%と最も高く、次いで「声かけや見守り」の割合が35.4%、「外出の付き添い」の割合が29.7%となっています。



【回答者年代別】

回答者年代別にみると、65歳～90歳以上まで年代が下がるほど「話し相手」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	話し相手	声かけや見守り	外出の付き添い	家事等の手伝い	認知症の人や家族が交 流できる場	近隣住民の認知症への 理解
全 体	158	37.3	35.4	29.7	21.5	10.8	19.0
60歳未満	58	39.7	32.8	24.1	25.9	10.3	22.4
60～64歳	27	37.0	44.4	22.2	22.2	7.4	11.1
65～69歳	19	47.4	42.1	36.8	36.8	15.8	15.8
70～79歳	15	46.7	60.0	40.0	0.0	6.7	33.3
80～89歳	28	35.7	21.4	39.3	10.7	14.3	14.3
90歳以上	5	0.0	40.0	40.0	40.0	0.0	0.0
無回答	6	0.0	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3

区分	回答者数 (件)	コンビニや公共交通機 関等の認知症への理解	家族・介護者が買い物 等、ちよつとした用事 がある際に本人を見て いてくれる人／制度	地域コミュニティの中 での居場所	その他	特にな い	無回 答
全 体	158	6.3	27.2	12.0	1.9	1.3	16.5
60歳未満	58	8.6	31.0	10.3	1.7	0.0	13.8
60～64歳	27	7.4	29.6	14.8	7.4	0.0	18.5
65～69歳	19	0.0	36.8	5.3	0.0	0.0	15.8
70～79歳	15	6.7	20.0	13.3	0.0	0.0	13.3
80～89歳	28	3.6	21.4	14.3	0.0	3.6	17.9
90歳以上	5	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
無回答	6	0.0	16.7	33.3	0.0	16.7	33.3

【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）で「話し相手」、夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）、夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）で「外出の付き添い」、子どもと同居で「家事等の手伝い」「家族・介護者が買い物等、ちょっとした用事がある際に本人を見ていてくれる人／制度」、ひとり暮らしで「近隣住民の認知症への理解」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	話し相手	声かけや見守り	外出の付き添い	家事等の手伝い	認知症の人や家族が交 流できる場	近隣住民の認知症への 理解
全 体	158	37.3	35.4	29.7	21.5	10.8	19.0
ひとり暮らし	36	30.6	33.3	22.2	22.2	8.3	30.6
夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）	42	31.0	33.3	40.5	21.4	19.0	11.9
夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）	10	50.0	40.0	40.0	0.0	10.0	0.0
子どもと同居	39	43.6	30.8	25.6	33.3	0.0	20.5
無回答	31	41.9	45.2	25.8	12.9	16.1	19.4

区分	回答者数 (件)	コンビニや公共交通機 関等の認知症への理解	家族・介護者が買い物 等、ちょっとした用事 がある際に本人を見て いてくれる人／制度	地域コミュニティの中 での居場所	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	158	6.3	27.2	12.0	1.9	1.3	16.5
ひとり暮らし	36	8.3	19.4	11.1	2.8	0.0	22.2
夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）	42	11.9	21.4	14.3	2.4	0.0	14.3
夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）	10	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	10.0
子どもと同居	39	2.6	46.2	10.3	2.6	0.0	15.4
無回答	31	3.2	22.6	16.1	0.0	0.0	16.1

【当事者介護認定別】

当事者介護認定別にみると、要介護１から要介護５まで介護認定が下がるほど「コンビニや公共交通機関等の認知症への理解」の割合が高い傾向にあり、要支援１、２から要介護３まで介護認定が下がるほど「地域コミュニティの中での居場所」の割合が高くなっています。

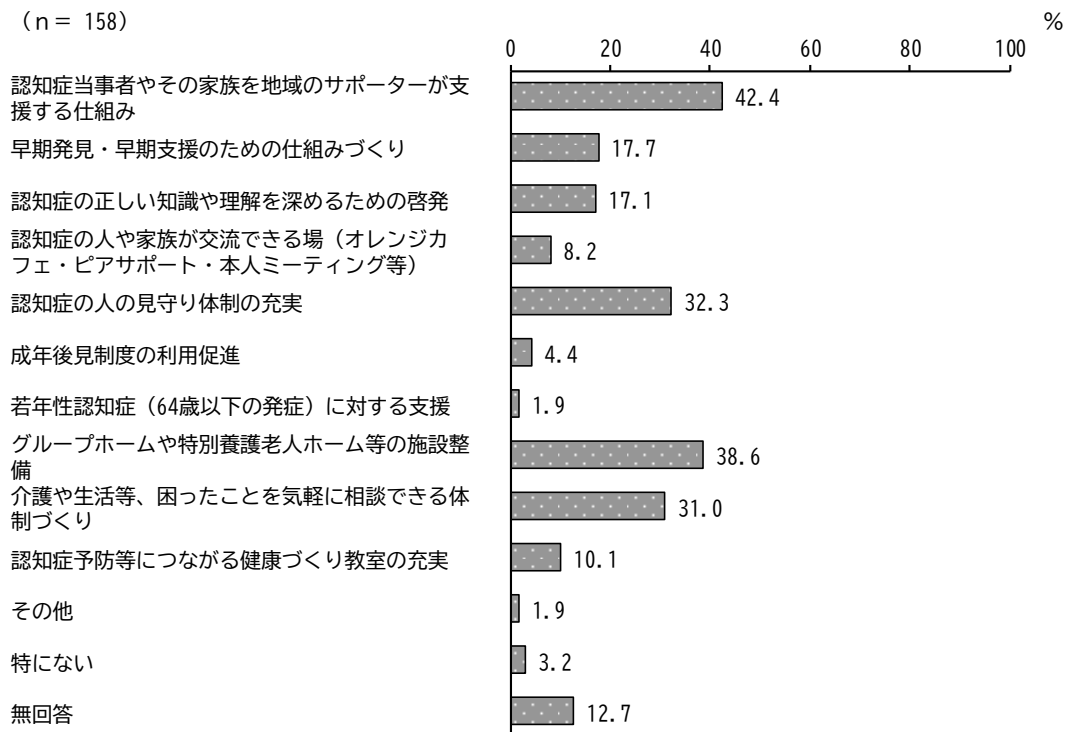
単位：％

区分	回答者数 (件)	話し相手	声かけや見守り	外出の付き添い	家事等の手伝い	認知症の人や家族が交 流できる場	近隣住民の認知症への 理解
全 体	152	37.5	36.8	30.3	21.7	10.5	19.7
要支援１、２	10	30.0	40.0	20.0	20.0	10.0	40.0
要介護１	50	40.0	34.0	34.0	26.0	8.0	10.0
要介護２	40	32.5	30.0	30.0	17.5	15.0	22.5
要介護３	24	41.7	41.7	20.8	20.8	12.5	33.3
要介護４	11	45.5	63.6	54.5	36.4	18.2	9.1
要介護５	14	42.9	42.9	21.4	14.3	0.0	21.4
無回答	3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

区分	回答者数 (件)	コンビニや公共交通機 関等の認知症への理解	家族・介護者が買い物 等、ちよつとした用事 がある際に本人を見て いてくれる人／制度	地域コミュニティの中 での居場所	その他	特 に ない	無 回 答
全 体	152	6.6	26.3	11.2	2.0	0.7	16.4
要支援１、２	10	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	10.0
要介護１	50	10.0	28.0	14.0	0.0	0.0	20.0
要介護２	40	7.5	25.0	7.5	7.5	0.0	15.0
要介護３	24	4.2	29.2	0.0	0.0	4.2	16.7
要介護４	11	0.0	27.3	9.1	0.0	0.0	0.0
要介護５	14	0.0	28.6	21.4	0.0	0.0	14.3
無回答	3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	66.7

問8 認知症施策として、市に取り組んで欲しいことはありますか。
(特にあてはまるもの3つまでを選択し○)

「認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み」の割合が 42.4%と最も高く、次いで「グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備」の割合が 38.6%、「認知症の人の見守り体制の充実」の割合が 32.3%となっています。



【回答者年代別】

回答者年代別にみると、年代が下がるほど「認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発」の割合が高い傾向にあり、65歳～90歳以上まで年代が下がるほど「グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み	早期発見・早期支援のための仕組みづくり	認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発	認知症の人や家族が交流できる場（オレンジカフェ・ピアサポート・本人ミーティング等）	認知症の人の見守り体制の充実	成年後見制度の利用促進
全 体	158	42.4	17.7	17.1	8.2	32.3	4.4
60歳未満	58	41.4	24.1	24.1	1.7	36.2	8.6
60～64歳	27	51.9	7.4	18.5	3.7	40.7	0.0
65～69歳	19	42.1	15.8	21.1	10.5	31.6	5.3
70～79歳	15	53.3	26.7	13.3	26.7	40.0	0.0
80～89歳	28	39.3	14.3	7.1	14.3	21.4	0.0
90歳以上	5	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
無回答	6	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	16.7

区分	回答者数 (件)	若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援	グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備	介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり	認知症予防等につながる健康づくり教室の充実	その他	特になし
全 体	158	1.9	38.6	31.0	10.1	1.9	3.2
60歳未満	58	1.7	37.9	27.6	8.6	1.7	3.4
60～64歳	27	3.7	44.4	29.6	7.4	0.0	0.0
65～69歳	19	0.0	52.6	42.1	15.8	10.5	0.0
70～79歳	15	6.7	40.0	33.3	20.0	0.0	0.0
80～89歳	28	0.0	28.6	28.6	10.7	0.0	10.7
90歳以上	5	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
無回答	6	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

区分	回答者数 (件)	無回答
全 体	158	12.7
60歳未満	58	10.3
60～64歳	27	14.8
65～69歳	19	0.0
70～79歳	15	0.0
80～89歳	28	21.4
90歳以上	5	20.0
無回答	6	50.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成と比べて、子どもと同居で「認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み」「認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)で「認知症の人や家族が交流できる場(オレンジカフェ・ピアサポート・本人ミーティング等)」、ひとり暮らしで「認知症の人の見守り体制の充実」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)で「介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり」「認知症予防等につながる健康づくり教室の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み	早期発見・早期支援のための仕組みづくり	認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発	認知症の人や家族が交流できる場(オレンジカフェ・ピアサポート・本人ミーティング等)	認知症の人の見守り体制の充実	成年後見制度の利用促進
全 体	158	42.4	17.7	17.1	8.2	32.3	4.4
ひとり暮らし	36	44.4	13.9	16.7	5.6	44.4	0.0
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	42	38.1	16.7	7.1	19.0	21.4	4.8
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	10	30.0	0.0	10.0	10.0	10.0	0.0
子どもと同居	39	51.3	20.5	23.1	2.6	41.0	2.6
無回答	31	38.7	25.8	25.8	3.2	29.0	12.9

区分	回答者数 (件)	若年性認知症(64歳以下の発症)に対する支援	グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備	介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり	認知症予防等につながる健康づくり教室の充実	その他	特にない
全 体	158	1.9	38.6	31.0	10.1	1.9	3.2
ひとり暮らし	36	0.0	41.7	27.8	2.8	0.0	2.8
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	42	4.8	35.7	35.7	9.5	2.4	4.8
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	10	0.0	30.0	40.0	20.0	10.0	10.0
子どもと同居	39	2.6	38.5	20.5	12.8	0.0	2.6
無回答	31	0.0	41.9	38.7	12.9	3.2	0.0

区分	回答者数 (件)	無回答
全 体	158	12.7
ひとり暮らし	36	13.9
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	42	16.7
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	10	10.0
子どもと同居	39	10.3
無回答	31	9.7

【当事者介護認定別】

当事者介護認定別にみると、他の介護認定に比べて、要介護４で「認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み」「グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備」、要介護５で「早期発見・早期支援のための仕組みづくり」「認知症の人の見守り体制の充実」、要支援１、２で「認知症予防等につながる健康づくり教室の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み	早期発見・早期支援のための仕組みづくり	認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発	認知症の人や家族が交流できる場（オレンジカフェ・ピアサポート・本人ミーティング等）	認知症の人の見守り体制の充実	成年後見制度の利用促進
全 体	152	42.1	17.8	17.1	7.2	33.6	4.6
要支援１、２	10	40.0	10.0	20.0	10.0	40.0	0.0
要介護１	50	48.0	18.0	24.0	10.0	28.0	4.0
要介護２	40	32.5	20.0	15.0	7.5	22.5	7.5
要介護３	24	41.7	12.5	8.3	8.3	41.7	4.2
要介護４	11	54.5	18.2	18.2	0.0	36.4	9.1
要介護５	14	50.0	28.6	14.3	0.0	64.3	0.0
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

区分	回答者数 (件)	若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援	グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備	介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり	認知症予防等につながる健康づくり教室の充実	その他	特にない
全 体	152	2.0	40.1	30.9	10.5	2.0	3.3
要支援１、２	10	10.0	40.0	30.0	30.0	0.0	10.0
要介護１	50	0.0	38.0	36.0	8.0	4.0	2.0
要介護２	40	2.5	22.5	35.0	12.5	0.0	5.0
要介護３	24	4.2	50.0	16.7	8.3	0.0	4.2
要介護４	11	0.0	72.7	36.4	9.1	9.1	0.0
要介護５	14	0.0	57.1	28.6	0.0	0.0	0.0
無回答	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0

区分	回答者数 (件)	無回答
全 体	152	12.5
要支援１、２	10	0.0
要介護１	50	10.0
要介護２	40	15.0
要介護３	24	20.8
要介護４	11	0.0
要介護５	14	7.1
無回答	3	66.7

